

2019（令和元）年度事業報告書

—2019年4月1日～2020年3月31日—



学校法人 聖隷学園

目次

1	法人の概要	…	1 頁
	(1) 基本情報	…	1 頁
	(2) 建学の精神	…	1 頁
	(3) 学校法人の沿革	…	2 頁
	(4) 設置する学校・学部・学科等	…	3 頁
	(5) 学校・学部・学科等の学生・生徒・園児数の状況	…	4 頁
	(6) 収容定員充足率	…	5 頁
	(7) 役員の概要	…	6 頁
	(8) 評議員の概要	…	7 頁
	(9) 教職員の概要	…	8 頁
2	事業の概要	…	9 頁
	(1) 主な教育・研究の概要	…	10 頁
	(2) 中期的な計画（教学・人事・施設・財務等） 及び事業計画の進捗・達成状況	…	28 頁
	(3) 施設等の状況	…	55 頁
3	財務の概要	…	56 頁
	(1) 決算の概要	…	56 頁
	(2) その他	…	62 頁
	(3) 経営状況の分析、経営上の成果と課題、 今後の方針・対応方策	…	65 頁

1 法人の概要

(1) 基本情報

学校法人 聖隷学園
静岡県浜松市北区三方原町3453
電話(代表) 053-436-5311
FAX 053-436-5355
H P <https://www.seirei.ac.jp/gakuen>

(2) 建学の精神

◆ 基本理念 「生命の尊厳を守り、自分のように隣人を愛する」

イエス・キリストが自ら弟子の足を洗い手本を示されたように、行って同じようにすること、人と共にあり、共に生きることを人生の目的と喜びとすること、病人や障害を持つ人、お年寄りの不安や苦痛、悲しみを理解し、クリストファーが危険を冒し、命がけでイエス・キリストを背負ってライン河を渡ったように、これらの人々を大事にケアする人材が本学園から育つことを願っています。また、聖隷学園は地域の人々にとって役に立つ学園であることを願っています。地域社会の発展に貢献する人材、さらには、アメリカ・ヨーロッパや発展途上国で国際的に活躍する人材が巣立っていくことを期待しています。

◆ 聖隷とは

新約聖書のヨハネによる福音書第13章に、最後の晩餐のとき、キリストは「食事の席から立ち上がって上着を脱ぎ、手ぬぐいをとって腰にまとわれた。それから、たらいに水を汲んで弟子たちの足を洗い、腰にまとった手ぬぐいでふき始められた・・・」とあります。当時、人の足を洗うことは奴隷の仕事でしたが、キリストは弟子たちに行動を以って最後の教えを示しました。「聖隷」の名はこの箇所由来しています。1926年(大正15年)4月、長谷川保ら10人ほどのクリスチャンの若者たちは、奴隷の形をとって弟子たちの足を洗われるキリストの姿をクリスチャンの理想の生き方と考え、自分たちもキリストに倣い、「聖なる神の奴隷」となって世の人々に仕える生き方をしようと社会福祉事業を目的として聖隷社を創立。ここから「聖隷」の歴史が始まりました。

◆ クリストファーとは

「キリストを運ぶもの・担うもの」という意味で、3世紀半ば頃の半伝説的な殉教者の名前です。世界で最も強い人に仕えたいと願った彼が、王様や悪魔の家来を経て、最後にたどり着いた師がキリストでした。そして、この伝説の最後で彼は少年に姿を変えたキリストをそうとは知らずに背負って川向こうまで運ぶのですが、その少年(キリスト)は世界のすべての罪と苦しみを背負い、誰よりも重かったのです。以後、「クリストファー」はキリスト教の精神を担うことの高貴さを表す名称としてヨーロッパ諸国に広まっていきました。聖隷の創立者・長谷川保は、クリストファーがキリストを背負ったように、病人や障害者、お年寄りの不安や苦痛、悲しみを理解し、大事にケアする人が育ってほしいとの願いから、校名を「聖隷クリストファー」と命名しました。

◆ シンボルマークの由来



外側の二重円は、最後の晩餐でイエス・キリストが弟子たちの足を洗った「たらい」を表現。内側の3つの円は、聖隷グループが使命とする医療、福祉、教育を象徴。中央の十字架はキリスト教を示し、聖隷のすべての事業が、キリスト教会の中から始まったことを示しています。故アルバート・アットウェル（アメリカ人、1978～1981年聖隷学園に奉職）により1980年（昭和55年）に聖隷のシンボルマークが考案されました。

(3) 学校法人の沿革

1930年	ベテルホームに結核患者収容開始
1936年	浜松市三方原町の県有地7ヘクタール（21,000坪）払下げになる
1939年	迫害が激しくおこり経営困難極まる 12月天皇陛下より特別御下賜金を受ける
1949年	各種学校遠州キリスト学園開設
1952年	聖隷准看護婦養成所開設
1966年	学校法人聖隷学園設立 聖隷学園高等学校設置
1969年	聖隷学園浜松衛生短期大学設置
1980年	聖隷学園浜松衛生短期大学専攻科助産学特別専攻開設
1988年	聖隷介護福祉専門学校設置
1992年	聖隷クリストファー看護大学看護学部設置
1998年	聖隷クリストファー看護大学大学院看護学研究科（修士課程）設置
2001年	聖隷学園高等学校を「聖隷クリストファー高等学校」に名称変更
2002年	大学に社会福祉学部を増設し、「聖隷クリストファー大学」に名称変更 短期大学を「聖隷クリストファー大学看護短期大学部」とする
2003年	聖隷クリストファー高等学校移転改築
2004年	大学にリハビリテーション学部、大学院に社会福祉学研究科（修士課程）を設置 看護短期大学部看護学科を募集停止し、看護学部を定員増
2006年	大学院にリハビリテーション科学研究科（修士課程）を設置 高等学校に英数科を設置
2007年	聖隷クリストファー大学看護短期大学部専攻科助産学特別専攻を廃止し、 大学に助産学専攻科を設置
2008年	大学院に保健科学研究科（博士後期課程）を設置 大学社会福祉学部にごども教育福祉学科を設置
2009年	聖隷クリストファー中学校設置
2010年	大学看護学部養護教諭課程開設

2011 年	聖隷クリストファー大学附属クリストファーこども園開設 大学社会福祉学部を社会福祉学科、臨床介護福祉学科及びこども教育福祉学科に改編 大学リハビリテーション学部を理学療法学科、作業療法学科及び言語聴覚学科に改編 大学院を看護学研究科、社会福祉学研究科、リハビリテーション科学研究科の 各博士前期課程・博士後期課程に改編
2013 年	大学社会福祉学部臨床介護福祉学科を、「介護福祉学科」に名称変更 大学院保健科学研究科廃止
2016 年	聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校開設
2019 年	大学社会福祉学部こども教育福祉学科に小学校教諭課程開設

(4) 設置する学校・学部・学科等 (2019 年 5 月 1 日現在)

設置する学校	開設年	学部等	学科・専攻等	摘 要
聖隷クリストファー大学	1992 年	看護学部	看護学科	
	2007 年	助産学専攻科		
	2002 年	社会福祉学部	社会福祉学科	2011 年度より 3 学科に改編 2013 年度「臨床介護福祉学科」を「介護福祉学科」に名称変更
	2008 年		こども教育福祉学科	
	2011 年		介護福祉学科	
	2004 年	リハビリテーション学部	理学療法学科	2011 年度より 3 学科に改編
			作業療法学科	
			言語聴覚学科	
	1998 年	大学院看護学研究科 博士前期課程 (修士課程)		
	2011 年	大学院看護学研究科 博士後期課程		
	2004 年	大学院社会福祉学研究科 博士前期課程 (修士課程)		
	2011 年	大学院社会福祉学研究科 博士後期課程		
	2006 年	大学院リハビリテーション科学研究科 博士前期課程 (修士課程)		
2011 年	大学院リハビリテーション科学研究科 博士後期課程			
聖隷クリストファー大学 介護福祉専門学校	2016 年	介護福祉学科		

設置する学校	開設年	学部等	学科・専攻等	摘 要
聖隷クリスティー 高等学校	1966年	普通科		1974年衛生看護科から移行
	2006年	英数科		
聖隷クリスティー 中学校	2009年			
聖隷クリスティー大学 附属 クリスティーこども園	2011年			

(5) 学校・学部・学科等の学生・生徒・園児数の状況 (2019年5月1日現在)

◆聖隷クリスティー大学・大学院

(単位:人)

	入学 定員	入学 者数	収容 定員	在 籍 者 数					
				1年	2年	3年	4年	合計	
大 学 院	看護学研究科	15	9	35	9	22	15	-	46
	博士前期課程	10	6	20	6	16	-	-	22
	博士後期課程	5	3	15	3	6	15	-	24
	社会福祉学研究科	13	4	29	4	6	8	-	18
	博士前期課程	10	2	20	2	3	-	-	5
	博士後期課程	3	2	9	2	3	8	-	13
	リハビリテーション科学研究科	15	13	35	13	14	6	-	33
	博士前期課程	10	11	20	11	13	-	-	24
	博士後期課程	5	2	15	2	1	6	-	9
	大学院合計	43	26	99	26	42	29	-	97
大 学	看護学部	150	158	600	158	172	150	162	642
	看護学科	150	158	600	158	172	150	162	642
	助産学専攻科	15	17	15	17	-	-	-	17
	社会福祉学部	120	93	450	90	60	84	75	309
	社会福祉学科 (※1)	40+5	44+0	170	44	35	32	37	148
	介護福祉学科 (※1)	25+10	16+3	120	16	5	14	6	41
	こども教育福祉学科	40	30	160	30	20	38	32	120
	リハビリテーション学部	95	125	380	125	111	103	107	446
	理学療法学科	40	56	160	56	47	43	45	191
	作業療法学科	30	38	120	38	34	32	34	138
	言語聴覚学科	20	31	100	31	30	28	28	117
	大学合計	380	393	1,445	390	343	337	344	1,414
	総 合 計	423	419	1,544	416	385	366	344	1,511

※1・・・+5. +10 は編入学生

◆聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校

(単位：人)

	入学 定員	入学 者数	収容 定員	在籍者数		
				1年	2年	合計
介護福祉学科	40	27	80	27	20	47
総合計	40	27	80	27	20	47

◆聖隷クリストファー高等学校

(単位：人)

	入学 定員	入学 者数	総定員	在籍者数			
				1年	2年	3年	合計
英数科	94	48	282	48	49	49	146
普通科	200	237	600	237	210	193	640
総合計	294	285	882	285	259	242	786

◆聖隷クリストファー中学校

	入学 定員	入学 者数	総定員	在籍者数			
				1年	2年	3年	合計
総合計	70	535	210	53	47	45	145

◆聖隷クリストファー大学附属クリストファーこども園

(単位：人)

	総定員	在籍者数						合計
		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	
定員	225	15	15	15	60	60	60	225
1号認定	135				49	44	45	138
2.3号認定	90	7	15	17	16	15	15	85
総合計		7	15	17	65	59	60	223

(6) 収容定員充足率（毎年度5月1日現在）

学校名	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
聖隷クリストファー大学	98.0%	96.4%	97.7%	97.2%	97.9%
聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校 ※	-	55.0%	58.8%	56.3%	58.8%
聖隷クリストファー高等学校	95.5%	102.6%	94.3%	93.0%	89.1%
聖隷クリストファー中学校	72.4%	73.8%	66.2%	68.1%	69.0%
聖隷クリストファー大学附属クリストファーこども園	92.9%	95.6%	96.0%	97.8%	99.1%

※2016年度開校

(7) 役員概要

2020年3月31日現在
定員数 理事13名、監事2名

区分	氏名	常勤・非常勤の別	摘要
理事長	長谷川 了	常 勤	1980年3月29日理事就任 1980年4月専務理事就任 1989年4月理事長就任
専務理事	小柳 守弘	常 勤	2006年5月25日理事就任 2006年11月法人事務局長就任 2012年11月専務理事就任（法人事務局長兼任）
理 事	大城 昌平	常 勤	2017年4月聖隷クリスティア-大学学長就任 2013年5月23日理事就任
理 事	茨城 久一郎	常 勤	2016年4月聖隷クリスティア-中・高等学校校長就任 2016年4月1日理事就任
理 事	永井 英司	常 勤	2013年4月聖隷学園宗教主任就任 2016年11月24日理事就任
理 事	藤本 栄子	常 勤	2016年4月聖隷クリスティア-大学看護学部長就任 2016年5月26日理事就任
理 事	横尾 恵美子	常 勤	2012年4月聖隷クリスティア-大学社会福祉学部長就任 2016年4月聖隷クリスティア-大学介護福祉専門学校校長就任 2017年5月25日理事就任
理 事	太田 雅子	常 勤	2011年4月 聖隷クリスティア-大学附属クリスティア-こども園総園長就任 2012年5月24日理事就任
理 事	君島 功	非常勤	2018年5月24日理事就任 （東京海上日動火災保険株式会社 浜松支店長）
理 事	山本 敏博	非常勤	2001年4月1日理事就任 （聖隷福祉事業団理事長）
理 事	荻野 和功	非常勤	2003年4月1日理事就任 （聖隷三方原病院院長）
理 事	岡 俊明	非常勤	2018年11月28日理事就任 （聖隷浜松病院院長）
理 事	中村 勇	非常勤	2016年4月1日理事就任 （東京海上日動ベターライフサービス株式会社 取締役社長）
監 事	俵山 初雄	非常勤	2009年4月1日監事就任 （しんきん経済研究所 理事長）
監 事	平井 章	非常勤	2011年4月1日監事就任

前会計年度の決算承認に係る理事会開催日後の退任役員

区分	氏名	常勤・非常勤の別	摘要
	なし		

2019年3月31日以降の異動状況

区分	氏名	常勤・非常勤の別	摘要
	なし		

(8) 評議員の概要

2020年3月31日現在
定員数 27名

氏名	就任年月日	主な現職等
長谷川 了	1979年 7月 8日	学校法人聖隷学園 理事長
小柳 守弘	2003年 4月 1日	学校法人聖隷学園 専務理事・法人事務局長
大城 昌平	2013年 4月 1日	聖隷クリストファー大学 学長
茨城 久一郎	2009年 4月 1日	聖隷クリストファー中・高等学校 校長
藤本 栄子	2016年 5月 26日	聖隷クリストファー大学看護学部 学部長
横尾 恵美子	2012年 5月 24日	聖隷クリストファー大学社会福祉学部 学部長 兼 介護福祉専門学校 校長
太田 雅子	2012年 5月 24日	聖隷クリストファー大学附属クリストファーこども園 総園長
君島 功	2018年 5月 24日	東京海上日動火災保険株式会社 浜松支店長
大野 和男	2017年 4月 1日	聖隷クリストファー中・高等学校 宗教部長
新宮 尚人	2017年 4月 1日	聖隷クリストファー大学リハビリテーション学部 学部長
大友 信勝	2018年 4月 1日	聖隷クリストファー大学大学院社会福祉学研究科長 (大学院三研究科長代表)
上村 敏正	2017年 4月 1日	聖隷クリストファー中・高等学校 副校長
敷浪 いづみ	2016年 5月 26日	聖隷クリストファー中・高等学校 教頭
中村 憲司	2010年 5月 27日	聖隷クリストファー大学 総務部長
鈴木 聡	2012年 11月 28日	学校法人聖隷学園 法人事務局 企画部長
高木 広幸	2019年 4月 1日	学校法人聖隷学園 法人事務局 財務部長
紅谷 純	2018年 5月 24日	聖隷クリストファー大学 同窓会会長
木村 忠雄	2007年 4月 1日	聖隷クリストファー大学 同窓会副会長
中村 純子	2018年 5月 24日	聖隷クリストファー高等学校 同窓会長
古川 英治	2019年 4月 1日	聖隷クリストファー大学・介護福祉専門学校 後援会長
宮下 良人	2019年 4月 1日	聖隷クリストファー中・高等学校 P T A会長
長澤 道子	2003年 4月 1日	(社)牧ノ原やまばと学園 理事長
藤島 一郎	2005年 4月 1日	浜松市リハビリテーション病院 院長
稲松 義人	1997年 4月 1日	(社)小羊学園 理事長
加藤 成久	2015年 4月 1日	(社)神戸聖隷福祉事業団 理事
森本 俊子	2016年 4月 1日	(社)聖隷福祉事業団聖隷浜松病院 総看護部長
堀口 路加	1990年 4月 1日	学校法人堀口学園 理事長、(社)愛の園福祉会 理事長

(9) 教職員の概要 (2019年5月1日現在)

聖隷クリストファー大学・大学院 教員数

(単位：人)

	専任					兼任	合計
	教授	准教授	講師 助教	助手	計		
看護学部	20	12	18	1	51	42	93
社会福祉学部	13	7	5	0	25	54	79
リハビリテーション学部	14	8	8	0	30	56	86
助産学専攻科	1	1	1	0	3	25	28
合計	48	28	32	1	109	177	286
平均年齢	50.0歳						

聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校 教員数

(単位：人)

	専任	兼任	兼任	合計
介護福祉学科	3	23	3	29
平均年齢	35.3歳			

聖隷クリストファー高等学校 教員数

(単位：人)

	専任	兼任	合計
普通科・英数科	40	41	81
平均年齢	41.9歳		

聖隷クリストファー中学校 教員数

(単位：人)

	専任	兼任	合計
中学校	11	8	19
平均年齢	42.1歳		

聖隷クリストファー大学附属クリストファーこども園 教員数 (調理員等含む) (単位：人)

	専任	準職	合計
こども園	14	25	39
平均年齢	38.1歳	47.2歳	

※準職員は7.75hで1名換算

職員数

(単位：人)

	専任	準職	派遣	合計
法人	14	3	4	21
聖隷クリストファー大学 聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校	38	7	4	49
聖隷クリストファー中・高等学校	5	4	0	9
クリストファーこども園	3	18	0	21
合計	60	32	8	100
平均年齢	42歳	54歳	-	46歳

2 事業の概要

法人全体

①メディカルスクール（医学系専門職大学院）設置構想

国際基準に合わせた医学教育（2023年以降）の改革に対応するため、メディカルスクール（医学系専門職大学院）設置構想を掲げています。

過去6年制医学部から4年制メディカルスクール（学部卒業）に移行したハーバード大学医学部、デューク大学医学部シンガポール校、オーストラリアディーキン大学・モナッシュ大学、マレーシア、韓国（ソウル近郊）、フィリピンにおける医師養成状況事例を資料にまとめ検討材料の基礎としています。

②小学校設置構想

建学の精神であるキリスト教精神のもと、こども園から専門職大学院（メディカルスクール）までの一貫したグローバル化の構築に向けた聖隷学園中長期経営計画（2019年度から2025年度まで）を策定しました。2020年4月キリスト教精神を基盤とした英語イマージョン教育による小学校開校に向けて、小学校設置プロジェクトを中心に具体的準備（教員招聘、教育課程、教育課程特例申請、生徒募集、校舎建築）に取り組みました。こども園から小学校、中・高等学校につながる英語教育を展開しながら、大学、メディカルスクール（医学系専門職大学院）進学を見据えたグローバル化を図るため、学園全体で連携して取り組んでいます。

③グローバルスクール設置構想

小学校から中学、高等学校まで一貫したイマージョン・探究型教育を行い、独自性を明確にしたグローバルスクールと位置づけています。今後中長期経営計画の目標生徒数、教員数を前提に教員配置、教育課程、校舎の増・新築を具体化しています。一方で既存の中・高等学校とも連携、協力体制を保ちつつ進めています。

④中長期人事政策に向けた取組み

今後将来的に納付金や補助金の増額が見込めない一方、アベノミクス政策により人件費比率は毎年1%近く増加していく見通しがあり、財政的に非常に厳しい状況になっていきます。大学、中高の教員配置計画、教員年齢問題対応を含めた特任教員配置計画ならびに非常勤講師配置計画について、人件費比率を大学では63%、中高では60%、こども園では70%以下を前提とした人事政策を実施しています。そのひとつとして、教職員人事評価制度について、客観的説得力のある評価と処遇反映によるやりがいのある制度の構築に向けて、評価基準の整備、処遇反映方法等の調整を行なっています。大学、専門学校、こども園、事務職員に加え、2019年度から中高等学校教員に新人事評価制度を導入しました。

⑤地域における交流と信頼関係づくり

三方原地区における聖隷グループの各施設が共通する課題について話し合い、協調を図っていくことを趣旨として三方原サミットを開催しました。2019年度は本学園が進行担当法人として、各施設、団体より当年度事業計画のトピックスを報告いただき、互いの事業への理解を深める機会としました。また、災害時対応として、大型台風等による風水害を想定し三方原サミット災害対策本部、三方原サミット各施設合同でトランシーバーによる情報収集訓練を行いました。今後も定期的に訓練を実施していきます。

聖隷クリストファー大学

聖隷クリストファー大学は、キリスト教精神による生命の尊厳と隣人愛に基づき人格を陶冶すると共に、広い知識と深い専門の学芸を教授・研究し、保健医療福祉分野の看護、リハビリテーション、福祉、教育の専門職業人を育成して、人類の健康と福祉に寄与することを目的としています。

大学の中長期事業計画に沿って、2019年度は社会福祉学部・学科の再編と小学校教諭養成課程の円滑なスタート、学園全体のグローバル人材養成構想に沿って大学の国際化の推進、学生募集活動の工夫と強化による定員確保に重点的に取り組んできました。

また、内部質保証システムの再整備および教学マネジメント体制の構築を推進し、特に大学基準における各種方針について検討を深め明文化しました。「卒業認定・学位授与の方針(DP)」「教育課程編成・実施の方針(CP)」「入学者受入れの方針(AP)」について改定をおこない、大学各学部学科、大学院各研究科のDP、CP、APを定めました。

2019年度の事業計画の評価をおこない、2020年度は建学の精神を基盤とした教育および人材育成を継続し、教育・研究・実践における学部・学科・研究科の独自性と強みを強化・発展させ「次の時代に向けた教育と人材育成の質の向上と組織づくり」を目指します。

(1) 主な教育・研究の概要

◆「卒業認定・学位授与の方針」

	全学	看護学部	リハビリテーション学部
卒業認定・学位授与の方針	<p>聖隷クリストファー大学は、建学の精神であるキリスト教精神による「生命の尊厳と隣人愛」に基づいた保健医療福祉および教育分野の専門職を育成することを教育の基本理念とし、この理念に基づき、看護学部、社会福祉学部、リハビリテーション学部それぞれの教育目的を定めています。</p> <p>各学部は、教育目的に則した教育課程および卒業の資格を定めるとともに、以下に掲げる事項を共通基盤とする到達目標を定めます。</p> <p>卒業においては、各学部の教育課程に学び、各学部が掲げる到達目標に到達することを目標とし、卒業に必要な所定の単位数を修得した者に対し卒業を認定し、学位を授与します。</p>	<p>看護学部は、建学の精神であるキリスト教精神による「生命の尊厳と隣人愛」に基づき、人々の健康の保持増進、疾病の予防、健康の回復、苦痛の緩和を行い、人々がその人らしく生活できることを目指した質の高いケアを提供する看護の専門職を育成することを教育目的としています。</p> <p>卒業においては、教育目的に則した教育課程に学び、以下に掲げることに到達することを目標とし、卒業に必要な所定の単位数を修得した者に対し卒業を認定し、学位を授与します。</p>	<p>リハビリテーション学部では、建学の精神であるキリスト教精神による「生命の尊厳と隣人愛」に基づいた人間性を涵養することを土台に、地域の医療・福祉と生活上の困難を抱える人々の自立及び生活の質の向上を支援するために、専門機関や施設、他職種との連携、共同して、その責務を果たすことができる高度な知識・技術と実践力を兼ね備えたリハビリテーション専門職者を養成することを教育目的としています。</p> <p>卒業においては、教育目的に則した教育課程に学び、以下に掲げることに到達することを目標とし、卒業に必要な所定の単位数を修得した者に対し卒業を認定し、学位を授与します。</p>

	全学	看護学部	リハビリテーション学部
卒業認定・学位授与の方針	<ol style="list-style-type: none"> 1. 建学の精神である「生命の尊厳と隣人愛」に基づいた高邁な精神と豊かな教養に裏付けられた倫理観を身につけている。 2. 専門分野の基本的な知識・理論を体系的に修得している。 3. 様々な価値観や立場、意見を尊重した対人関係力と論理的表現力を身につけている。 4. 専門分野や関連諸学の学識を用いて、課題を探究・設定し、多面的に考察することができる。 5. 専門分野の知識・理論や技能を総合的に活用し、課題を解決する実践力を身につけている。 6. 自らの専門性とその責務を自覚し、多職種と連携・協働することができる。 7. 地域および国際社会のニーズを捉え、専門職として自己研鑽することができる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 建学の精神である「生命の尊厳と隣人愛」に基づいた高邁な精神と豊かな教養に裏付けられた倫理観を身につけている。 2. 看護の基盤および看護専門分野の基本的な知識・理論や技能を体系的に修得している。 3. 様々な価値観や立場、意見を尊重した対人関係能力と論理的表現力を身につけている。 4. 看護専門分野や諸学の学識を用いて課題を探究し、多面的に考察することができる。 5. 専門分野の知識・理論や技能を総合的に活用し、対象の特性を踏まえた看護の実践力を身につけている。 6. 看護専門職としての専門性とその責務を自覚し、多職種と連携・協働することができる。 7. 地域および国際社会のニーズを捉え、看護専門職として自己研鑽することができる。 <p>なお、養護教諭の教職課程のディプロマ・ポリシーについては、上記に加えて下記の通りとします。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 教育に関する基礎的な教養・技能を身につけている。 (2) 養護教諭として必要な専門的知識・技能を身につけている。 (3) 上記(1)と(2)を活用して児童生徒の健康問題に対応できる実践力を身につけている。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 建学の精神である「生命の尊厳と隣人愛」に基づいた高邁な精神と豊かな教養に裏付けられた倫理観を身につけている。 2. リハビリテーション専門分野の基本的な知識・理論・技能を体系的に修得している。 3. リハビリテーション専門職者に求められる様々な価値観や立場、意見を尊重した対人関係力と論理的表現力を身につけている。 4. 専門分野や関連諸学の学識を用いて、リハビリテーション上の課題を探究・設定し、多面的に考察することができる。 5. 専門分野の知識・理論や技能を総合的に活用し、リハビリテーション上の課題を解決する実践力を身につけている。 6. リハビリテーション領域において自らの専門性と責務を自覚し、多職種と連携・協働することができる。 7. 地域および国際社会のニーズを捉え、リハビリテーション専門職として自己研鑽することができる。

	社会福祉学部 社会福祉学科・介護福祉学科	社会福祉学部 こども教育福祉学科
卒業認定・学位授与の方針	<p>社会福祉学科と介護福祉学科は、建学の精神であるキリスト教精神による「生命の尊厳と隣人愛」に基づいた人間性を涵養することを土台に、地域の福祉と生活上の困難を抱える人々の自立及び生活の質の向上を支援するために、専門機関や施設、他職種との連携、共同して、その責務を果たすことができる高度な知識・技術と実践力を兼ね備えた社会福祉分野の専門職者を養成することを教育目的としています。</p> <p>卒業においては、教育目的に則した教育課程に学び、以下に掲げることに到達することを目標とし、卒業に必要な所定の単位数を修得した者に対し卒業を認定し、学位を授与します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 建学の精神である「生命の尊厳と隣人愛」に基づいた高邁な精神と豊かな教養に裏付けられた倫理観を身につけている。 2. 社会福祉専門職に求められる専門分野の基本的な知識・理論を体系的に修得している。 3. 様々な価値観を持つ人々を理解・受容できる対人関係力と論理的表現力を身につけている。 4. 自らの専門分野や関連諸学の学識を用いて、生活問題、社会問題を認識し、課題を探求・設定し、多面的に考察することができる。 5. 社会福祉分野の知識・技能を総合的に活用し、対象・課題に応じた支援を提供する実践力を身につけている。 6. 社会福祉専門職としての責務と役割を自覚し、住民や多様な専門職と連携・協働することができる。 7. 社会福祉に関する地域社会および国際社会のニーズを捉え、社会福祉専門職として貢献し、自己研鑽することができる。 	<p>こども教育福祉学科は、建学の精神であるキリスト教精神による「生命の尊厳と隣人愛」に基づいた人間性を涵養することを土台に、地域の福祉と生活上の困難を抱える人々の自立及び生活の質の向上を支援するために、専門機関や施設、他職種との連携、共同して、その責務を果たすことができる高度な知識・技術と実践力を兼ね備えた福祉専門職者を養成することを教育目的としています。</p> <p>卒業においては、教育目的に則した教育課程に学び、以下に掲げることに到達することを目標とし、卒業に必要な所定の単位数を修得した者に対し卒業を認定し、学位を授与します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 建学の精神である「生命の尊厳と隣人愛」に基づいた高邁な精神と高い倫理観と教育・保育の専門職者として必要な豊かな教養を身につけている。 2. 教育・保育の専門職者に求められる専門分野の基本的な知識・理論や技術を体系的に修得している。 3. 様々な価値観や立場、意見を尊重した対人関係力と論理的表現力を身につけている。 4. 設定した課題について自らの専門分野や関連諸学の学識を用いて広い視野で議論し、考察することができる。 5. 専門分野の知識・理論や技術等を総合的に活用して、個々の子どもに合わせて援助・指導する実践力を備えている。 6. 教育・保育の領域において自らの専門性を自覚し、多職種と連携・協働することができる。 7. 教育・保育に関する地域社会・国際社会のニーズを捉え、専門職として使命感を持ちながら貢献し、自己研鑽することができる。

《大学院博士前期課程》

	大学院共通	看護学研究科
卒業認定・学位授与の方針	<p>聖隷クリストファー大学大学院博士前期課程は、建学の精神であるキリスト教精神による「生命の尊厳と隣人愛」を基に、幅広い学識を身につけ、保健医療福祉分野の教育・研究と実務の向上・発展に寄与する人材を養成することを教育の基本理念とし、この理念に基づき、看護学研究科、リハビリテーション科学研究科、社会福祉学研究科それぞれの教育目的を定めています。</p> <p>各研究科はそれぞれ、教育目的に則した教育課程および修了の要件を定めるとともに、以下に掲げる事項を共通基盤とする到達目標を定めます。</p> <p>修了においては、各研究科の教育課程に学び、各研究科が定める目標に到達し、修了に必要な所定の単位数を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、修士論文を提出して、その審査および最終試験に合格した者に対し修了を認定し、学位を授与します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「生命の尊厳と隣人愛」の精神を基盤とする倫理観を身に付け、研究・実践および自らの行動に反映することができる。 2. 専門並びに近接分野(領域)の高度な知識・技能を習得し、科学的かつ論理的な思考力を身に付けている。 3. 幅広い視野を持ち、俯瞰的なものの見方と専門応用力を駆使して、問題発見と解決を図ることができる。 4. 研究課題を自ら探索し、独創的な研究テーマを設定して、研究計画を立案することができる。 5. 研究計画に沿ってデータ収集を行い、結果のまとめ・データ分析・考察を適切に行い、論文としてまとめ発表することができる。 6. 他の専門職者や研究者と連携・協働し、リーダーシップを発揮して課題解決に取り組むことができる。 7. 学際的かつ国際的な視野をもち、海外の専門家と交流することができる。 	<p>聖隷クリストファー大学大学院看護学研究科博士前期課程は、建学の精神であるキリスト教精神による「生命の尊厳と隣人愛」を基に、幅広い学識を身につけ、看護と看護学の創造に貢献する保健医療福祉分野の教育・研究と実務の向上・発展に寄与する人材を養成することを教育目的としています。</p> <p>修了においては、教育目的に則した教育課程に学び、以下に掲げることに到達することを目標とし、修了に必要な所定の単位数を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、修士論文を提出して、その審査および最終試験に合格した者に対し修了を認定し、学位を授与します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「生命の尊厳と隣人愛」の精神を基盤とする倫理観を身につけ、看護学分野の質の高い実践、教育・研究に反映することができる。 2. エビデンスに基づいた実践や研究を行うために、看護学分野および関連諸科学における主要な理論・概念を深め、問題解決を図ることができる。 3. 看護学の研究分野以外の幅広い視野をもち、俯瞰的なものの見方と専門的応用力を発揮して、専門性の高い活動を実践することができる。 4. 看護学分野の専攻領域における研究課題に取り組み、独創的な研究テーマを設定して研究計画を立案することができる。 5. 研究計画に沿ってデータ収集を行い、結果のまとめ・データ分析・考察を適切に行い、基礎的研究を実施することができる。 6. 他の専門職者や研究者との連携・協働を通し、人々の健康、福祉、安寧に貢献することができる。 7. 学術的かつ国際的な視野をもち、海外の専門家や学生と交流ができる。

	リハビリテーション科学研究科	社会福祉学研究科
卒業認定・学位授与の方針	<p>リハビリテーション科学研究科博士前期課程は、建学の精神であるキリスト教精神による「生命の尊厳と隣人愛」を基に、幅広い学識を身につけ、リハビリテーション科学分野の教育・研究と実務の向上・発展に寄与する人材を養成することを教育目的としています。</p> <p>修了においては、教育目的に則した教育課程に学び、以下に掲げることに到達することを目標とし、修了に必要な所定の単位数を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、修士論文を提出して、その審査および最終試験に合格した者に対し修了を認定し、学位を授与します。</p>	<p>社会福祉学研究科博士前期課程は、建学の精神であるキリスト教精神による「生命の尊厳と隣人愛」を基に、幅広い学識を身につけ、社会福祉実践において人びとの生活課題の解決・改善を目指し、その枠組みを理論化し、指導的な役割を果たせる有意な人材を養成することを教育目的としています。</p> <p>修了においては、教育目的に則した教育課程に学び、以下に掲げることに到達することを目標とし、修了に必要な所定の単位数を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、修士論文を提出して、その審査および最終試験に合格した者に対し修了を認定し、学位を授与します。</p>
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「生命の尊厳と隣人愛」の精神を基盤とする倫理観を身に付け、リハビリテーション科学の研究・実践及び自らの活動に反映することができる。 2. リハビリテーション科学について最新の専門知識・技能を習得し、問題解決に向け科学的で論理的な活動が企画できる。 3. 幅広い知識と視野を持ち、専門応用力を通じて、現在の学術及び臨床課題を抽出し解決する方法を提案できる。 4. リハビリテーション科学に関する研究課題を自ら探索し、先行研究の調査と詳読を経て、研究テーマを設定し、研究計画を立案することができる。 5. 研究計画に沿ってデータ収集を行い、結果のまとめ・分析・考察を行い、論文としてまとめ発表することができる。 6. 他の専門職者や研究者との連携・協働を通してコミュニケーションを図り、人々の健康、福祉、教育の課題解決に取りくむことができる。 7. 学術的かつ国際的な視野をもち、海外の専門家や学生と交流ができる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「生命の尊厳と隣人愛」の精神を基盤とする福祉の思想、倫理観を身に付け、実践・研究・教育に反映することができる。 2. 社会福祉分野における専門知識を習得し、福祉の人間学についての探究心を深め、論理的かつ科学的な思考力を身に付けることができる。 3. 自らの研究分野以外の幅広い視野を持ち、専門応用力を身につけ、専門性の高い活動を実践することができる。 4. 先行研究をレビューした上で、自らの研究課題を発見し、その仮説を構築し、研究計画を立案することができる。 5. 研究計画に沿って仮説を実証するための研究方法を身につけ、データ収集、データ分析・考察を適切に行い、論文としてまとめ発表することができる。 6. 高度専門職連携をすすめ、その連携・協働を通して、人々の健康・福祉・安寧に貢献できる。 7. 学術的かつ国際的な視野をもち、海外の専門家や学生と交流ができる。

《大学院博士後期課程》

	大学院共通	看護学研究科
卒業認定・学位授与の方針	<p>聖隷クリストファー大学大学院博士後期課程は、建学の精神であるキリスト教精神による「生命の尊厳と隣人愛」を基に、精深な学識と高度の専門性を備え、また世界にも通用する保健医療福祉分野の教育・研究者、管理者（高度専門職業人）を育成することを教育の基本理念とし、この理念に基づき、看護学研究科、リハビリテーション科学研究科、社会福祉学研究科それぞれの教育目的を定めています。</p> <p>各研究科はそれぞれ、教育目的に則した教育課程および修了の要件を定めるとともに、以下に掲げる事項を共通基盤とする到達目標を定めます。</p> <p>修了においては、各研究科の教育課程に学び、各研究科が定める目標に到達し、修了に必要な所定の単位数を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、博士論文を提出して、その審査および最終試験に合格した者に対し修了を認定し、学位を授与します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「生命の尊厳と隣人愛」の精神を基盤とする倫理観を身に付け、行動規範を示すことができる。 2. 専門分野並びに接近分野（領域）の高度な知識・技能を習得し、科学的、論理的かつ創造的な思考力を身に付けている。 3. 幅広い視野を持ち、俯瞰的なものの見方と専門応用力を駆使して、知の創造に取り組むことができる。 4. 独創的かつ先端的な研究テーマを設定して、研究計画を立案することができる。 5. 研究計画に沿って研究を実施し、論文としてまとめ発表し、専門分野・領域の発展に貢献することができる。 6. 連携・協働においてリーダーシップを発揮して、人々の健康、福祉、安寧に貢献することができる。 7. 学術的かつ国際的な視野をもち、グローバルリーダーとしての活躍を志向できる。 	<p>聖隷クリストファー大学大学院看護学研究科博士後期課程は、建学の精神であるキリスト教精神による「生命の尊厳と隣人愛」を基に、幅広い学識を身につけ、看護と看護学の創造に貢献する保健医療福祉分野の教育・研究と実務の向上・発展に寄与する教育・研究者、管理者（高度専門職業人）を養成することを教育目的としています。</p> <p>修了においては、教育目的に則した教育課程に学び、以下に掲げることに到達することを目標とし、修了に必要な所定の単位数を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、博士論文を提出して、その審査および最終試験に合格した者に対し修了を認定し、学位を授与します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「生命の尊厳と隣人愛」の精神を基盤とする倫理観を身につけ、看護学分野の質の高い実践、教育・研究に反映し自らの行動に反映することができる。 2. エビデンスに基づいた実践や研究を行うために、看護学分野および関連諸科学における主要な理論・概念を深め、高度な専門知識・能力を習得し問題解決を図ることができる。 3. 看護学の研究分野以外の幅広い視野をもち、俯瞰的なものの見方と専門的応用力を発揮して、新たな知を創造することができる。 4. 看護学分野の専攻領域の研究課題を自ら発見し、先行研究のレビューを行い、独創的な研究テーマを設定して、研究計画を立案することができる。 5. 研究計画に沿ってデータ収集を行い、結果のまとめ・データ分析・考察を適切に行い、論文としてまとめ発表することができる。 6. 他の専門職者や研究者との連携・協働を通してリーダーシップを発揮し、人々の健康、福祉、安寧に貢献することができる。 7. 学術的かつ国際的な視野をもち、グローバルな活躍をめざし、海外の専門家や学生と交流ができる。

	リハビリテーション科学研究科	社会福祉学研究科
卒業認定・学位授与の方針	<p>リハビリテーション科学研究科博士後期課程は、建学の精神であるキリスト教精神による「生命の尊厳と隣人愛」を基に、精深な学識と高度の専門性を備え、また世界に通用する保健医療福祉分野の教育・研究者、高度専門職業人を育成することを教育目的としています。</p> <p>修了においては、教育目的に則した教育課程に学び、以下に掲げることに到達することを目標とし、修了に必要な所定の単位数を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、博士論文を提出して、その審査および最終試験に合格した者に対し修了を認定し、学位を授与します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「生命の尊厳と隣人愛」の精神を基盤とする倫理観を身に付け、リハビリテーション科学の研究・実践及び自らの行動に反映することができる。 2. リハビリテーション科学及び近接領域について高度な専門知識・技能を習得し、探求心と論理的思考力によって自ら問題解決を図ることができる。 3. 幅広い視野と教養を持ち、俯瞰的なものの見方と専門応用力を通じて、新たな知を創造する方法を提案できる。 4. リハビリテーション科学に関する研究課題を自ら発見し、先行研究の調査と詳読を経て、独創的な研究テーマを設定して、研究計画を立案することができる。 5. 研究計画に沿って実施し、自立した研究者・専門職者として論文としてまとめ発表することができる。 6. 他の専門職者や研究者との連携・協働を通してリーダーシップを発揮し、人々の健康、福祉、安寧および学問の発展に貢献することができる。 7. 学術的かつ国際的な視野をもち、グローバルリーダーとして国内外の専門家や学生と交流ができる。 	<p>社会福祉学研究科博士後期課程は、建学の精神であるキリスト教精神による「生命の尊厳と隣人愛」を基に、精深な学識を備え、社会福祉分野における研究基盤をつくり、高度に専門化する社会の要請にこたえる研究能力を有する自立した研究者を養成することを教育目的としています。</p> <p>修了においては、教育目的に則した教育課程に学び、以下に掲げることに到達することを目標とし、修了に必要な所定の単位数を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、博士論文を提出して、その審査および最終試験に合格した者に対し修了を認定し、学位を授与します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「生命の尊厳と隣人愛」の精神を基盤とする福祉の思想、高い倫理観を身に付け、実践・研究・教育に反映することができる。 2. 社会福祉学分野における高度な専門知識を習得し、福祉の人間学について探究心と論理的かつ科学的な思考力を身に付けることができる。 3. 自らの研究分野以外の幅広い領域を俯瞰的に把握し、専門応用力を駆使して、生活問題を切り拓く、新たな知を創ることができる。 4. 自立した研究者として、独創的な研究テーマを設定し、その仮説を構築し、研究計画を立案することができる。 5. 自らの研究を発展させ、研究計画に沿って仮説を実証するための研究方法を身につけ、データ収集、データ分析・考察を適切に行い、論文としてまとめ発表することができる。 6. 高度専門職連携をすすめ、その連携・協働を通してリーダーシップを発揮し、人々の健康・福祉・安寧に貢献できる。 7. 学術的かつ国際的な視野をもち、グローバルな活躍をめざし、海外の専門家や学生と学術的な研究交流ができる。

◆「教育課程編成・実施の方針」

	看護学部	リハビリテーション学部
<p>教育課程編成・実施の方針</p>	<p>カリキュラム編成方針は、教育理念・目的、学部の教育目的・目標、DP を達成し、看護師を志すものとして身につけるべき態度・知識・技能を修得するために、1) 建学の精神に基づいた人間性の涵養をはかるための自校教育と、人間理解を深めるための多様な教養科目を配置した教養基礎領域 2) 人間や環境についての基礎知識を幅広い視野から体系的に修得する専門基礎領域 3) 対象者の成長・発達段階および健康段階、看護の場の特性を踏まえて、対象の理解と看護に関する基本的な知識と理論、技能を修得するための看護専門領域—の 3 領域から行うものとします。具体的には以下のようにカリキュラムを編成・実施します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. キリスト教精神に基づく「生命の尊厳と隣人愛」を深く理解し、看護専門職者としての高い倫理観と価値観・態度を身につけるために、建学の理念と精神の育成に関わるキリスト教関連科目・自校教育科目を置く。また大学での学びの基礎を築き、幅広い知識を身につけ、多様な文化や価値観・生活背景を理解する人間教育に関わる大学教育導入科目と教養基礎科目を配置する。 2. 看護の対象者の課題を科学的・論理的、総合的に理解し、個別性に応じて支援するために、人が生きる環境や身体・心理面の健康、成長・発達を理解するための専門基礎、看護専門科目を配置する。 3. 様々な立場や意見、生活背景をもつ他者を理解し、自らの考えや意見を、対象に応じて正確・適切に、伝達・説明できるコミュニケーション力と実践力を養うためにキャリア教育科目および専門基礎科目を配置する。 4. 様々な年代の多様な状況にある人々に対して、基礎分野・専門基礎分野・専門分野の知識・理論、情報、技能等を総合的に活用し、根拠に基づく基礎的な看護技術を駆使し、看護を科学的に実践できる能力を養うために看護専門科目を配置する。 	<p>カリキュラムの編成方針は、上記の教育理念・目的、DP、並びに学部の教育目的・目標を達成するため、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士を志す者として身につけるべき態度・知識・技能を身につけるため、1) 建学の精神に基づいた人間性の涵養をはかるための自校教育と、人間理解を深めるための多様な教養科目を配置した教養基礎領域 2) 医学的基礎知識と、理学療法学・作業療法学・言語聴覚学の専門分野の基礎知識を体系的に修得する専門基礎領域 3) 対象者の疾患と病態、障害特性に応じた理学療法・作業療法・言語聴覚療法の実践に必要な検査・評価と治療・指導・援助に関する基本的な知識と理論、技能を修得するための専門領域—の 3 領域から編成します。具体的には以下のようにカリキュラムを編成・実施します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. キリスト教精神による「生命の尊厳と隣人愛」を理解し、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士として豊かな教養に裏付けられた倫理観を身につけるため、建学の理念と精神の育成に関わる自校教育科目および人間形成に関わるキリスト教関連科目を置く（講義）。また大学での学びの基礎を築き、知識の幅を広げ、物事を総合的に捉え的確に判断できる教養を養うため、大学教育導入科目と教養教育科目を置く。 2. 疾患や病態、心身機能の障害特性を理解し、適切な理学療法・作業療法・言語聴覚療法が実施できるようになるため、医学的基礎知識および各専門分野の基礎的な知識・理論を体系的に理解し、技能を修得する専門基礎科目を置く。 3. 対象者の価値観や立場を尊重した適切な対人関係を築くため、コミュニケーション力と実践力および自己分析能力を養うキャリア教育科目および専門基礎科目を置く。 4. 設定された課題や自身の疑問に対し、自身の専門分野や関連諸学の学識を統合し、課題を探求する態度と研究方法論を身につけるため、専門科目、研究基礎科目および各分野の発展的専門科目を置く。

	看護学部	リハビリテーション学部
教育課程編成・実施の方針	<p>5. 課題解決に向けて、主体的・かつ仲間と協働して看護専門分野や関連諸学の学識を用いて広い視野で検討するために、看護専門科目を置く。</p> <p>6. 看護者の役割と責任を自覚し、保健・医療・福祉の関係職種と協働する能力を養うために、専門科目と専門職連携教育科目を置く。</p> <p>7. 地域および国際的視野で物事をとらえる能力を養うために、国内外の医療、保健、看護を学習する科目や語学、海外研修や国際看護実習を経験する科目を配置する。</p> <p>8. 生涯に亘り看護学・看護実践を追求しようとする意欲と信念・価値観を養うために、これまでの看護学の学修を統合し、専門職としての自覚を高め、責務を理解し自己の看護観や研究的視点を深める統合科目を配置する。</p> <p>養護教諭課程では、上記の看護学部のカリキュラム編成方針に加えて、養護教諭を志す者として身につけるべき態度・知識・技能を修得するために、以下のようにカリキュラムを編成・実施します。</p> <p>(1) 教職の意義や職務、教育に関する基礎的知識、児童生徒への理解・対応に必要な発達等の知識を修得するために、教職に関する科目を配置する。</p> <p>(2) 児童生徒の心身の健康課題に対応できる知識・技能を修得するために、養護に関する科目を配置する。</p> <p>(3) 学校現場において児童生徒や教職員と関わり、学校保健活動を行う実践力を養うために、教育実践に関する科目を配置する。</p>	<p>5. 対象者の疾患と病態、障害特性を適切に理解し、基礎的な理学療法・作業療法・言語聴覚療法の基礎的な検査・評価と治療・指導・援助技能を修得するため、専門科目および臨床教育科目を置く。</p> <p>6. 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の役割と責任を自覚し、多職種との連携・協働が実践できる態度と知識・技能を修得するため、専門科目と専門職連携教育科目を置く。</p> <p>7. 地域および国際社会の課題に関心を深め、国際感覚および語学力・表現力を養うため、語学や海外研修および実習の科目を置く。</p>

	社会福祉学部 社会福祉学科・介護福祉学科	社会福祉学部 こども教育福祉学科
教育課程編成・実施の方針	<p>カリキュラム編成方針は、社会福祉士・介護福祉士を志す者として身につけるべき態度・知識・技術を修得するために、1) 建学の精神に基づいた人間性の涵養をはかるための自校教育と人間理解を深めるための多様な教養基礎科目を配置した教養基礎領域 2) 関連諸学の基礎知識や社会福祉士・介護福祉士の基礎知識を体系的に修得する専門基礎領域 3) さまざまな対象者の有する課題を科学的、論理的、総合的に理解し支援するために必要な社会福祉・介護福祉の基本的な知識と理論、および技術を修得するための専門領域—の 3 領域から編成します。具体的には上記の教育目標により、以下のカリキュラムを編成・実施します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. キリスト教精神に基づく「生命の尊厳と隣人愛」を深く理解し、社会福祉、介護福祉の専門職者としての高い倫理観と価値観・態度を身につけるために、建学の理念と精神の育成に関わる自校教育科目および人間形成に関わるキリスト教関連科目を置く。また大学での学びの基礎を築き、幅広い知識を身につけ、物事を総合的に捉え的確に判断できる教養を養うために大学教育導入科目と教養科目を置く。 2. 対象者の多様性を理解し、適切な社会福祉援助の実践ができるようになるため、関連諸学の基礎知識や社会福祉の各専門分野の基礎的な知識・理論や技能を体系的に理解し修得するために専門基礎科目を置く。 3. 対象者を全人的に理解し、適切な対人関係を築くことのできるコミュニケーション力と実践力を養うためにキャリア教育科目および専門基礎科目を置く。 4. 対象者を理解し、基礎的な社会福祉援助法の実践のため、各専門分野の基礎的な評価や援助技術を修得するために専門科目を置く。 	<p>カリキュラム編成方針は、小学校教諭・幼稚園教諭・保育士等の教育・保育専門職者を志す者として身につけるべき態度・知識・技術を修得するために、1) 建学の精神に基づいた人間性の涵養をはかるための自校教育と人間理解を深めるための多様な教養基礎科目を配置した教養基礎領域 2) 関連諸学の基礎知識や小学校教諭・幼稚園教諭・保育士等の基礎知識を体系的に修得する専門基礎領域 3) さまざまな対象者の有する課題を科学的、論理的、総合的に理解し支援するために必要な小学校教諭・幼稚園教諭・保育士等の基本的な知識と理論、および技術を修得するための専門領域—の 3 領域から編成します。具体的には上記の教育目標により、以下のカリキュラムを編成・実施します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. キリスト教精神に基づく「生命の尊厳と隣人愛」を深く理解し、小学校教諭、幼稚園教諭、(保育教諭)、保育士の教育・保育の専門職者として高い倫理観と価値観・態度を身につけるために、建学の理念と精神の育成に関わる自校教育科目および人間形成に関わるキリスト教関連科目を置く。また大学での学びの基礎を築き、幅広い知識を身につけ、物事を総合的に捉え的確に判断できる教養を養うために大学教育導入科目と教養科目を置く。 2. 対象者の多様性を理解し、適切な教育・保育の指導・援助の実践ができるようになるため、関連諸学の基礎知識や各専門分野の基礎的な知識・理論や技能を体系的に理解し取得するために専門基礎科目を置く。 3. 対象者を全人的に理解し、適切な対人関係を築くことのできるコミュニケーション力と実践力を養うためにキャリア教育科目および専門基礎科目を置く。 4. 対象者を理解し、基礎的な教育・保育方法の実践のために、各専門分野の基礎的な評価や指導・援助の技術を修得するために専門科目を置く。

	社会福祉学部 社会福祉学科・介護福祉学科	社会福祉学部 こども教育福祉学科
教育課程編成・実施の方針	<p>5. 設定された課題や自身の疑問に対し、専門分野や関連諸学の学識を統合し、課題を探究する態度と知識、技術を身につけるために専門科目を置く。</p> <p>6. 社会福祉、介護福祉の専門職者の役割と責任を自覚し、多職種との連携・協働が実践できる態度と知識・技術を修得するために専門科目と専門職連携教育科目を置く。</p> <p>7. 地域および国際社会の課題に関心を深め、国際的にも活躍できる国際感覚および語学力・表現力を養うために語学や海外研修および国際福祉実習の科目を置く。</p>	<p>5. 設定された課題や自身の疑問に対し、自分の専門分野や関連諸学の学識を統合し、課題を探究する態度と知識、技術を身につけるために専門科目を置く。</p> <p>6. 小学校教諭・幼稚園教諭・保育士等の教育・保育専門職者の役割と責任を自覚し、多職種との連携・協働が実践できる態度と知識・技術を修得するために専門科目と専門職連携教育科目を置く。</p> <p>7. 地域および国際社会の課題に関心を深め、国際的にも活躍できる国際感覚(異文化理解)および語学力・表現力を養うために語学や海外研修、国際ボランティア及び国際福祉実習の科目を置く。</p>

《大学院博士前期課程》

	大学院共通	看護学研究科
教育課程編成・実施の方針		<p>教育理念・目的及び DP、並びに教育目標を達成するため、次のように科目を配置します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 建学の精神に基づいた高い倫理観と関連諸学の幅広い知識を修得するための科目を置く（共通科目）。 2. 各専門分野の基盤となる主要な概念と理論及び研究方法等について体系的に修得するための科目を置く（基盤科目）。 3. 各専門分野の最新の研究動向と知見を修得した上で、研究課題に取り組み、質の高い研究論文を完成させるための科目を置く（専門科目）。 4. 高度実践看護コースにおいては、高度看護実践に必要な高い専門知識と高度看護実践能力を修得するための資格認定に必要な科目を置く（基盤科目・専門科目）。
		<p>リハビリテーション科学研究科</p> <p>教育理念・目的及び DP、並びに教育目標を達成するため、次のように科目を配置します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 建学の精神に基づいた高い倫理観と関連諸学の幅広い知識を修得するための科目を置く（共通科目）。 2. 各専門分野の基盤となる主要な概念と理論、専門的臨床技能及び研究方法等について体系的に修得するための科目を置く（基盤科目）。 3. 各専門分野の最新の研究動向と知見を修得した上で、研究課題に取り組み、質の高い研究論文を完成させるための科目を置く（専門科目）。
		<p>社会福祉学研究科</p> <p>教育理念・目的及び DP、並びに教育目標を達成するため、次のように科目を配置します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 建学の精神に基づいた高い倫理観と社会福祉学に求められる関連諸科学の幅広い知識を修得するための科目を置く（共通科目）。 2. 社会福祉原理・援助領域に必要な各専門分野の基盤となる主要な概念と理論及び研究方法等について体系的に修得するための科目を置く（基盤科目）。 3. 各専門分野の最新の研究動向と知見を修得した上で、研究課題に取り組み、質の高い研究論文を完成させるための科目を置く（専門科目）。

《大学院博士後期課程》

		大学院共通	看護学研究科
教育課程編成・実施の方針		/	<p>教育理念・目的及びDP、並びに教育目標を達成するため、次のように科目を配置します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 多職種と連携する資質を磨き、実務者として高度な知識と指導力を身につけるための科目を置く（共通科目）。 2. 専門性を深化させ独創的研究を行い、質の高い研究を完成させることを通して新たな知を創造するための科目を置く（専門科目）。
			リハビリテーション科学研究科
		<p>教育理念・目的及びDP、並びに教育目標を達成するため、次のように科目を配置します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 多職種と連携する資質を磨き、倫理観、学識、幅広い知識、人間性及び指導力を身につけるための科目を置く（共通科目）。 2. 専門性を深化させ独創的研究を行い、質の高い研究を完成させることを通して新たな知を創造するための科目を置く（専門科目）。 	<p>教育理念・目的及びDP、並びに教育目標を達成するため、次のように科目を配置します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 社会福祉の高度専門職として、多職種連携ができる資質を磨き、高度な知識と指導力を身に付けるための科目を置く（共通科目）。 2. 社会福祉学の自立した研究者として、専門性を進化させ独創的研究を行い、質の高い研究を完成させることを通して新たな知を創造するための科目を置く（専門科目）。

◆「入学者受入れの方針」について

		看護学部	リハビリテーション学部
入学者受入れの方針	どのような力を発展・向上させるのか	<p>看護学部では、建学の精神であるキリスト教精神による「生命の尊厳と隣人愛」に基づく深い人間理解の上に、人々の健康の保持増進、疾病の予防、健康の回復、苦痛の緩和を行い、人々がその人らしく生活できることを目指した質の高いケアを提供するために、進歩する看護専門分野および関連諸学の知識と技能を統合し、多職種連携・協働してその責務を果たし、国内外の新しい動向にも対応できる看護学分野の指導的人材として労を厭わぬ実践ができる看護専門職者を育成することを目的とします。</p>	<p>リハビリテーション学部では、建学の精神であるキリスト教精神による「生命の尊厳と隣人愛」に基づく深い人間理解の上に、高度な知識・技能を修得し、また多職種と連携・協働してその責務を果たし、国内外の新しい動向にも対応できるリハビリテーション分野の指導的人材となる理学療法士・作業療法士・言語聴覚士を育成することを教育目的とします。したがって、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士として必要な「相手の心を理解し尊重するという基本的態度」と「高度な専門的知識および実践的な専門技能」の二つの能力を修得し発展・向上させます。</p>

		看護学部	リハビリテーション学部
入学者受入れの方針	求める学生像	<ul style="list-style-type: none"> ・自分と同じように、他の人々を尊ぶことのできる人間性を備えた看護専門職を志す人 ・科学的思考力を身につけ、深い教養に支えられた看護専門職をめざして学ぶ意欲のある人 ・他の医療保健福祉分野の専門職を志す仲間と共に連携・協働して課題解決することに関心が高い人 ・看護専門職として社会に貢献する意欲のある人 	<p>前述の人材育成を目標としていることから、次のような資質を有する学生を求めています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建学の精神である「生命の尊厳と隣人愛」を尊重し、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士として人格を磨くことのできる人 ・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の使命と役割を理解し、それを担う意志のある人 ・教養と理学療法学・作業療法学・言語聴覚学の知識と技能を身につけ成長するため、自ら学ぶ意欲のある人 ・他の医療保健福祉分野の専門職者と多職種連携・協働して課題解決に努め、リーダーとして成長しようとする人 ・理学療法学・作業療法学・言語聴覚学分野の発展と、地域社会および国際社会の課題解決に貢献するため自己研鑽できる人 ・理学療法学・作業療法学・言語聴覚学の学問の発展のために国内外で学究活動に携わることを志す人
	大学入学までに身につけて欲しい教科・科目等	<p>高等学校の各教科において、本学部の目的、目標を達成するために大切な知識・態度を身につけていることが望まれます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語については、他者による表現を理解出来る読解力と、自己の考え・感情を適切に表す表現力 ・地理歴史・公民については多様な文化や価値観、生活背景をもつ他者を理解し、受け入れるための基礎知識 ・数学については、論理的な思考を可能とするための数学的素養 ・理科については、看護を科学的に実践する能力の基礎となる自然科学についての基礎知識 ・英語については、広く国際社会の人達とのコミュニケーションを実現できる能力としての英語理解と英語による表現力 	<p>人の心身機能・構造および活動とそれらの障害を理解し、理学療法学・作業療法学・言語聴覚学の理論と技能を修得する上で、高等学校までに次のような基礎学力を有していることが望まれます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語については、物事を的確に理解し、論理的に思考し表現するために必要な国語の文章力と読解力、言語による思考力および伝達力 ・地理歴史・公民については、多様な文化や歴史、価値観、生活背景をもつ他者を理解するために必要な基礎知識 ・数学については、論理的かつ数量的に物事を考え表現するために必要な数学的知識と技能 ・理科については、自然の現象や人体に関する諸問題を科学的に理解するために必要な自然科学（物理、化学、生物）に関する基礎知識 ・英語については、国際的視点で物事をとらえ、諸外国の人々と交流するために必要な基礎的な英語の理解力とコミュニケーション力

		看護学部	リハビリテーション学部
入学者受入れの方針	入学者選抜の基本方針	<p>看護学部では、複数の受験機会と多様な入試を提供しています。看護学部の教育理念・目標に見合う学生を選抜するため、一般選抜の他に総合型選抜、学校推薦型選抜、奨学生選抜、社会人選抜を実施しています。本学の入試では、個別学力検査、大学入学共通テスト、調査書、面接及び小論文などを組み合わせて志願者の能力や資質を総合的に評価します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別学力検査、大学入学共通テストでは、高等学校において修得した基礎的な学力（知識・理解、思考力・判断力・表現力）を評価します。 ・調査書は、高校時代に取り組んできた学習や活動の履歴を見ます。 ・面接では、他者と適切な人間関係を築く能力を評価します。 ・小論文では、総合的な能力「読解力、発想力、論理的思考力、表現力」を評価します。 	<p>リハビリテーション学部では、学力の3要素である①「基礎的・基本的な知識・技能」、②「思考力・判断力・表現力」、③「主体性をもって他者と協働して学ぶ態度」を総合的にみる、複数の受験機会と多様な入試を提供しています。本学の教育理念・目標に見合う学生を選抜するため、一般選抜の他に総合型選抜、学校推薦型選抜、奨学生選抜を実施しています。本学の入試では、個別学力検査、大学入学共通テスト、調査書、グループワーク、面接および小論文などを組み合わせて志願者の能力や資質を総合的に評価します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別学力検査、大学入学共通テストでは、高等学校において修得した基礎的な学力（知識・技能、思考力・判断力・表現力）をみます。 ・調査書は、高校時代に取り組んできた学習や課外活動の履歴から、主体性や協調性をみています。 ・グループワークでは、他者と適切な人間関係を築く能力を評価します。 ・面接では、目的意識、意欲、自己表現力、目標や将来のビジョンを確認しています。 ・小論文では、総合的な読解力、発想力、論理的思考力、表現力をみています。

		社会福祉学部 社会福祉学科	社会福祉学部 こども教育福祉学科
入学者受入れの方針	どのような力を発展・向上させるのか	<p>建学の精神であるキリスト教精神による「生命の尊厳と隣人愛」に基づいた人間性を養い、地域の福祉と生活上の困難を抱える人々の自立を支援する高度な知識・技術と関係多職種と連携、協働して、その責務を果たすことができる実践力を兼ね備えた福祉専門職の育成を目指しています。そのために地域と支援を必要とする人々を深く理解し、対人関係を築く能力を養い、社会福祉の専門知識、技術を修得することを目標としています。</p>	<p>建学の精神であるキリスト教精神による「生命の尊厳と隣人愛」に基づいた人間性を養い、地域の教育・福祉のために、関係多職種と連携、協働して、その責務を果たすことができる実践力を兼ね備えた教育・福祉専門職の育成を目指しています。そのために地域と対象者を深く理解し、対人関係を築く能力を養い、教育・福祉の専門知識、技術を修得することを目標としています。</p>

		社会福祉学部 社会福祉学科	社会福祉学部 こども教育福祉学科
入学者受入れの方針	求める学生像	<ul style="list-style-type: none"> ・人間が好きで、豊かな感性をもつ人 ・人間社会に関心をもち、社会的不公正を問う人 ・人とかかわり、多くのことを吸収し、協働を大切に人 ・社会福祉、介護福祉を学び、この分野でリーダーとして活躍したいという強い意志と意欲をもつ人 	<ul style="list-style-type: none"> ・人間が好きで、豊かな感性をもつ人 ・人間社会に関心をもち、人間と社会の発展に寄与する熱意のある人 ・人とかかわり、多くのことを吸収し、協働を大切に人 ・保育・教育（幼稚園・小学校）・社会福祉を学び、よりよい保育・教育・福祉の実現を目指して、高い倫理観と使命感をもって主体的に学修に専念する人
	大学入学までに身につけて欲しい教科・科目等	<p>高等学校の各教科において、本学部の目的、目標を達成するために大切な知識・態度を身につけていることが望まれます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語については、論理的思考をするための基礎となる読解力、表現力 ・地理歴史・公民については、地域社会に働きかける専門職者として、社会福祉に関する法律・制度を理解し、多様な文化や価値観、生活背景をもつ他者を理解し、受け入れるための基礎知識 ・数学については、問題解決を可能とするための論理数学的思考力 ・理科については、専門領域を科学的に実践する能力の基礎となる自然科学についての基礎知識 ・英語については、国際的視点で物事をとらえる能力の基礎となる語学力 	<p>高等学校の各教科において、本学部の目的、目標を達成するために大切な知識・態度を身につけていることが望まれます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語については、保育・教育・福祉の専門職者として論理的思考及びコミュニケーション力を支える読解力、表現力 ・地理歴史・公民については、保育・教育・福祉の専門職者として、多様な文化や価値観、生活背景をもつ他者を理解し、受け入れるための基礎知識 ・数学については、保育・教育・福祉の専門職者として、問題を系統立てて考え、解決に導くための論理数学的思考力 ・理科については、保育・教育・福祉の専門職者として必要となる自然科学についての基礎知識 ・英語については、国際的視点で物事をとらえる能力の基礎となる語学力と「世界」に視野を広げる挑戦意欲とコミュニケーション力
	入学者選抜の基本方針	<p>社会福祉学科では、複数の受験機会と多様な入試を提供しています。本学の教育理念・目標に見合う学生を選抜するため、一般選抜の他に総合型選抜、学校推薦型選抜、奨学生選抜、3年次編入学試験を実施しています。入試では、個別学力検査、大学入学共通テスト、調査書、面接及び小論文などを組み合わせて志願者の能力や資質を総合的に評価します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別学力検査、大学入学共通テストでは、高等学校において修得した基礎的な学力（知識・技能、思考力・判断力・表現力）を見えています。 ・調査書は、高校時代に取り組んできた学習や活動の履歴を見えています。 ・面接では、他者と適切な人間関係を築く能力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を見えています。 ・小論文では、総合的な能力「読解力、発想力、論理的思考力、表現力」を見えています。 	<p>こども教育福祉学科では、複数の受験機会と多様な入試を提供しています。本学の教育理念・目標に見合う学生を選抜するため、一般選抜の他に総合型選抜、学校推薦型選抜、奨学生選抜を実施しています。入試では、個別学力検査、大学入学共通テスト、調査書、面接及び小論文などを組み合わせて志願者の能力や資質を総合的に評価します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別学力検査、大学入学共通テストでは、高等学校において修得した基礎的な学力（知識・技能、思考力・判断力・表現力）を見えています。 ・調査書は、高校時代に取り組んできた学習や活動の履歴を見えています。 ・面接では、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を見えています。 ・小論文では、総合的な能力「読解力、発想力、論理的思考力、表現力」を見えています。

《大学院博士前期課程》

入学者受入れの方針	大学院共通	看護学研究科
	リハビリテーション科学研究科	社会福祉学研究科
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「生命の尊厳と隣人愛」の精神を基盤とする倫理観を理解する意欲を持っている人 2. リハビリテーション科学領域の実践や研究に必要な基本的倫理、知識、技能を備え、研究心を持っている人 3. リハビリテーション科学領域の臨床実践や教育実践における課題に気づき、口頭及び文書で論理的に表現することができる人 4. それぞれの実践の中で生じた課題の解決に意欲を持っている人 5. 自律的に活動し、主体性を持って多様な人々と協働して学ぼうとする意欲を持っている人 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「生命の尊厳と隣人愛」の精神を基盤とする高い倫理観を持って実践・教育・研究を志す人 2. 看護学領域の専門職の実践に必要な基本的倫理、知識、技能を備え、研究心を持っている人 3. 看護学領域の臨床実践や教育実践における課題に気づき、その意味を判断し、口頭及び文書で論理的に表現することができる人 4. 看護の実践の中で生じた課題の解決に意欲を持っている人 5. 自律的に活動し、主体性を持って多様な人々と協働して学ぼうとする人
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「生命の尊厳と隣人愛」の精神を基盤とする高い倫理観を持って実践・教育・研究を志す人 2. 社会福祉専門職の実践に必要な基本的倫理、福祉の思想、知識、技術を備え、研究心を持っている人 3. 社会福祉の高度専門職者として、臨床や教育実践における課題に気づき、その意味を判断し、口頭及び文書で論理的に表現し、社会的に問題の改善ができる人 4. 社会福祉実践の中で生じた課題の解決に意欲と科学的な分析力、研究方法を持っている人 5. 社会福祉実践の現場から学び、自立的に活動し、主体性を持って専門職連携、多職種連携を図り、協働のネットワークを構築する人 	

《大学院博士後期課程》

入学者受入れの方針	大学院共通	看護学研究科
	リハビリテーション科学研究科	社会福祉学研究科
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「生命の尊厳と隣人愛」の精神を基盤とする倫理観を理解する意欲を持っている人 2. リハビリテーション科学領域の研究に必要な基本的倫理、知識、技能を備え、研究を行った経験を有している人 3. リハビリテーション科学領域の研究課題に気づき、その意味を判断し、口頭及び文書で論理的に表現することができる人 4. それぞれの実践や研究の中で生じた独自の課題の解決に意欲を持っている人 5. 自律的に活動し、主体性を持って多様な人々と協働して学び、将来共に活動する志向を持っている人 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「生命の尊厳と隣人愛」の精神を基盤とする高い倫理観を持って実践・教育・研究を志す人 2. 看護学領域の専門職の実践に必要な基本的倫理、知識、技能を備え、研究心を持っている人 3. 看護学領域の臨床実践や教育実践における課題に気づき、その意味を判断し、口頭及び文書で論理的に表現することができる人 4. 看護の実践の中で生じた課題の解決に意欲を持っている人 5. 自律的に活動し、主体性を持って多様な人々と協働して学ぼうとする人
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「生命の尊厳と隣人愛」の精神を基盤とする高い倫理観を持って実践・教育・研究を志す人 2. 社会福祉専門職の実践に必要な基本的倫理、福祉の思想、知識、技術を備え、研究心を持っている人 3. 社会福祉の高度専門職者として、臨床や教育実践における課題に気づき、その意味を判断し、口頭及び文書で論理的に表現し、社会的に問題の改善ができる人 4. 社会福祉実践の中で生じた課題の解決に意欲と科学的な分析力、研究方法を持っている人 5. 社会福祉実践の現場から学び、自立的に活動し、主体性を持って専門職連携、多職種連携を図り、協働のネットワークを構築する人 	

聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校

聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校は、介護福祉の知識・技術・価値・理念と隣人愛の精神が統合された人間教育を行い、自分のことのように他者を考え「愛の実践」ができる介護福祉士を養成することを目的としています。

人間教育の一環として大切にしている毎朝の「礼拝」について、学生に丁寧にその意義を伝えることや奨励の内容がより学生に対し身近で分かりやすいものになるように改善を図っています。

授業はアクティブラーニングを通して、分かりやすく学生が積極的に学べるよう工夫し展開しています。授業以外の「日直活動」「終わりの会」「委員会活動」について、自ら考え行動でき礼節を知る機会として位置付けており、教員全員が学生ひとりひとりを大切にし、質の高い教育実践を推進しています。

在学する外国人留学生が楽しく学べるように、日本人学生との関係作りを意識した学生支援を行うと共に、国家試験合格を目指した毎日の補講などをより強化しています。

聖隷クリストファー中・高等学校

◆本校の目標

本校の教育目標を以下に掲げました。

- ①建学の精神である「自分のようにあなたの隣人を愛しなさい」という聖書の言葉をもとに、真理と愛に立脚し「人のために役立つ」姿勢を持ち、明るい未来を拓き実践する人材の育成を目指す。
- ②「隣人愛を基盤とした聖隷学園一貫グローバル人材推進構想」を実現し、日本と世界に発信し、地域に信頼される学校を目指す。

生徒一人一人が、この学園での学びを通して、自分に与えられている個性や賜物(たまもの)を発見し、人生の意味を考え進路を選び、この学園で培われた価値観を土台として生きる人となるよう願っています。

普遍の価値に軸足を置き、多様に変化する現代社会に責任を持って関われる、躍動する学園であることを目指します。

聖隷クリストファー大学附属クリストファーこども園

聖隷クリストファー大学附属クリストファーこども園（以下クリストファーこども園）は、2011年4月に静岡県西部で初めて開園した「幼保連携型認定こども園」です。園の基本理念である「キリスト教主義を基盤に心身ともに健やかなこどもの成長を育む園」の下、「愛・思いやり・たくましさ・いのち・表現力・自立」を園の目標として、主体性や意欲、他者を思いやる心など豊かな人間性を育てていくとともに、異年齢や多様な人々との関りを通して、人と関わる力が育まれることを目指しています。

◆基本理念

「キリスト教主義を基盤に、心身ともに健やかなこどもの成長を育む園」

◆基本方針

- ① 聖隷学園の建学の精神である「自分のようにあなたの隣人を愛しなさい」という聖書に示される愛の心をもつことを願っています。創造主（神）から一人ひとりに与えられた尊い＜命＞が守られながら、生き活きと伸びていき、それぞれの内側にある力が十分に発揮されると同時に、周囲の人々と共に生きることに喜びや楽しみを感じ、人と関る力を身につけることを目指します。
- ② 発達や学びの連続性という視点から小学校への接続を意識し、就学前の教育・保育を一体的・総合的に展開します。幼保連携型認定こども園教育・保育要領の内容に沿って「生きる力」の基礎を身につけていくことを目標とします。
- ③ 保護者や地域住民のために子育て支援を充実させます。皆で子どもの成長を助け喜び合えるように、子どもに関するあらゆる分野の人々が協力し、子育て環境の向上に努めます。
- ④ 聖隷クリストファー大学附属の園として、大学の教員と協力し、保育の質の向上のために、また乳幼児を取り巻くさまざまな問題の解決のための実践的研究を行います。その成果を公開・発表し、幼児教育・保育業界のモデルとなる保育プログラム作りを目指します。

◆園目標

- | | |
|---------|---------------------------------------|
| ＜愛＞ | 神様と周りの人に愛されていることが分かり、自分を大切にする気持ちをもつ。 |
| ＜思いやり＞ | 様々な人々との関わりを通して、思いやりの気持ちを育み共に生きる喜びを知る。 |
| ＜たくましさ＞ | 自然の中で思いきり遊び、感性やたくましい心と体を育む。 |
| ＜いのち＞ | 食に関わる体験を積み、いのちがつながりあい、支えられていることに感謝する。 |
| ＜表現力＞ | 自ら様々なことに取り組み、考えたり表現する力を身につける。 |
| ＜自立＞ | 生活に必要なことが分かり、自分から身に付けようとする。 |

◆保育の特色

- ① 自然の中での多様でダイナミックな体験を通して、生き活きとたくましく成長することを目指しています。
- ② 大学やその他の専門機関との連携により学問的根拠に裏づけられた、質の高い幼児教育・保育を実践し、子どもの健全な育ちを目指しています。
- ③ 皆で子どもの成長を助け喜びを共有するという意識に立って、子育て支援の充実、子育て環境の向上に努めています。

(2) 中期的な計画（教務・人事・施設・財務等）及び事業計画進捗・達成状況

聖隷クリストファー大学

中長期事業計画「未来創造躍進プラン」

＜建学の精神＞ キリスト教精神に基づく「生命の尊厳と隣人愛」

＜教育理念＞ 建学の精神を教育・研究・諸活動の基本理念とし、建学の精神に裏付けられた保健医療福祉・教育の専門職業人を育成することによって、人々の健康と幸福、そして地域と世界の福祉に貢献します。

＜ビジョン＞ 保健医療福祉・教育の未来を創造する 教育・研究・実践のフロンティア大学

＜キャッチコピー＞隣人愛と知の技で 共に生きる社会の実現へ 聖隷クリストファー大学

＜ミッションステートメント＞

- 1) 建学の精神であるキリスト教精神に基づく「生命の尊厳と隣人愛」を大学運営並びに教育・研究・実践に活かし、人々の幸福と健康、地域とアジアの保健医療福祉・教育の未来創造に貢献する。
- 2) 保健医療福祉・教育の総合大学としての学際性を活かした独創的教育を提供し、建学の精神に裏付けられた豊かな人間性と倫理観、教養と専門的知識・技能を兼ね備え、一人ひとりのために労を厭わぬ専門職を育成する。
- 3) 大学院博士前・後期課程をもつ大学として、卓越した研究成果と知を創造し、保健医療福祉・教育の発展に貢献する高度専門職者並びに研究・教育者を輩出する。
- 4) 社会に開かれた大学として、地域社会における保健医療福祉・教育に関する教育・研究・実践の拠点を形成し、共生社会の実現への使命を果たす。
- 5) 国際的な保健医療福祉・教育の課題解決に向けて、本学の人的・知的・技術的・教育環境の資源（聖隷ブランド）を活かした国際支援及び人材育成により国際貢献に資する。
- 6) 時代を先見し、自律的な自己点検評価と大学改革の実行により、保健医療福祉・教育のモデル大学として学界・教育界をリードする。
- 7) 教職員一人ひとりが個人として尊重され自律性が認められるとともに、自己成長と協働により大学（聖隷学園）の新たな価値創造と発展に努める。

＜長期目標（10年後）＞

- 【教 育】 建学の精神と教育理念のもと、聖隷ブランドを活かした先進的かつ独創的な教育環境と教育課程及び教育方法による「聖隷教育モデル」を創出する。
- 【研 究】 保健医療福祉・教育分野の独創的かつ学際的な研究を推進するとともに、国内及びアジアの中核となる研究・教育拠点を形成し、新たな学問体系を創造する。
- 【学生支援】 隣人愛の精神を涵養し、主体的に豊かな学生生活を送ることができる「愛と活気あるグローバルキャンパス」をつくり、愛校心と帰属意識を醸成する。
- 【就職・キャリア支援】 保健医療福祉・教育の動向と展望に基づいた病院施設等との連携体制の再整備と、卒業生・同窓会との強固なパートナーシップに基づく相互支援体制を構築する。
- 【地域連携】 地域の保健医療福祉・教育の基幹大学として、地域の保健医療福祉の発展に向けた大学-地域連携による教育・研究・実践の地域モデルを構築する。
- 【国際化】 国際的に競争力ある大学を目指して、積極的に国際交流・支援及び人材育成を展開し、アジアの保健医療福祉・教育の教育・研究・実践のハブ（Hub）大学に発展する。
- 【学生募集】 情報と企画に基づく戦略的広報活動と、高大連携及び幼小中高大・卒業生循環型の募集活動等により、募集定員を堅持するとともに、アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）に基づいた人材を受け入れる。
- 【基盤整備】 質の高い教育・研究を支える人事・組織・施設設備の充実を図るとともに、内部質保証システムに基づいた自律的な自己点検・評価を実施し、大学運営及び教育研究の質の向上を促す。また、建学の精神と教育理念を遵守・維持し継続的発展を担う幹部教職員を育成する。

＜中期・短期計画一覧＞

最重点課題	分類	中期目標（2019～2023年度）	中期目標：客観指標（2019～2023年度）
(5) 地域連携および国際化の推進と発展 (4) 内部質保証システムの再整備および教学マネジメント体制の構築・アセスメントポリシーに基づいた学修成果の可視化 (3) 社会福祉学部の学科再編および小学校教諭養成課程による人材養成の展開と定員確保 (2) 学部・学科・研究科の強みの強化・発展と打ち出し (1) 建学の精神を基盤とした教育および人材育成	看護学部	①学部の教育特徴・資源を活かした教育課程及び教育方法を創出し、卓越した独創的な教育を発展させる。 ②学位授与方針に基づいて適正な成績評価を行い、教育の質を保証し、社会に貢献する専門職を輩出する。 ③社会の看護師養成の政策動向を的確に判断し、それに適う学部・専攻科－大学院（CNS含む）－特定行為研修が有機的に機能する組織体制と人材養成教育を行う。	○実質倍率（一般入試前期受験者数：合格者数）：1.8以上 ○偏差値：47.5以上 ○標準修業年限卒業率：95%以上 ○国家試験の合格率：全国大学平均値以上 ○学部からの大学院進学者：10名 ○卒業生満足度「卒業前に：この大学で学べたことは有意義であった」：70p以上 ○就職満足度「進路について：希望する進路先に就職、または進学することができた」：80p以上 ○保護者満足度「本学に進学させてよかったか」：95%以上
	社会福祉学部	①学部・学科の教育特徴・資源を活かした教育課程及び教育方法を創出し、卓越した独創的な教育を発展させる。 ②学位授与方針に基づいて適正な成績評価を行い、教育の質を保証し、社会に貢献する専門職を輩出する。 ③社会の要請に応え得る質と数の介護福祉士・社会福祉士・幼稚園教諭・保育士・小学校教諭を養成し輩出する。 ④将来の社会福祉と教育分野の人材養成に適う、社会福祉学部の将来構想（「国際教育学部」等）を検討する。	○定員充足 ○偏差値：40以上 ○標準修業年限卒業率：95%以上 ○国家試験の合格率：全国大学平均値以上 ○介護福祉士養成：25名 ○社会福祉士養成：45名 ○精神保健福祉士：15名 ○小学校教諭養成：10名 ○卒業生満足度「卒業前に：この大学で学べたことは有意義であった」：60p以上 ○就職満足度「進路について：希望する進路先に就職、または進学することができた」：60p以上 ○保護者満足度「本学に進学させてよかったか」：95%以上
	リハビリテーション学部	①学部・学科の教育特徴・資源を活かした教育課程及び教育方法を創出し、卓越した独創的な教育を発展させる。 ②学位授与方針に基づいて適正な成績評価を行い、教育の質を保証し、社会に貢献する専門職を輩出する。 ③国際リハビリテーションコースの着実に実施により、国際的活躍を指向するリハビリテーション専門職者と教員の養成を推進する。	○実質倍率（一般入試前期受験者数：合格者数）：2.0以上 ○偏差値：50.0以上 ○標準修業年限卒業率：95%以上 ○国家試験の合格率：全国大学平均値以上 ○国際コース履修者：10名 ○国外への進学等：2名 ○卒業生満足度「卒業前に：この大学で学べたことは有意義であった」：PT学科・OT学科 70p以上／ST学科 50p以上 ○就職満足度「進路について：希望する進路先に就職、または進学することができた」：70p以上 ○保護者満足度「本学に進学させてよかったか」：95%以上

中期計画（2021～2023 年度）	短期計画（2019～2020 年度）
<ul style="list-style-type: none"> ○学部・専攻科－大学院（CNS 含む）－特定行為研修が有機的に機能する組織・教育体制の構築 ○教員体制と教育環境の充実 ○専攻科の将来構想の策定 	<ul style="list-style-type: none"> ○学部・専攻科－大学院（CNS 含む）－特定行為研修が有機的に機能する組織・教育体制の整備（領域再編・教員配置・教育課程等の検討） ○パソコン必携化に向けて教員の授業へのパソコン・タブレット等の活用促進 ○教員充足と人材育成 ○シミュレーション教育を中心とした学内教育環境の整備
<ul style="list-style-type: none"> ○学生定員充足 ○教員体制と教育環境の充実 ○介護福祉士・社会福祉士・精神保健福祉士の人材育成と輩出 ○聖隷クリストファー小学校等の小学校教諭の輩出 	<ul style="list-style-type: none"> ○介護福祉学科・社会福祉学科統合の着実な教育実施人材育成の発展 ○児童福祉領域の強化 ○小学校教職課程の着実な教育実施と発展
<ul style="list-style-type: none"> ○国際リハビリテーションコースの発展（卒業生の進路） ○定員の充足 	<ul style="list-style-type: none"> ○国際リハビリテーションコースの着実な展開 ○定員充足のための着実な広報活動 ○自治体、企業、病院・施設、他大学等との連携体制（プラットフォーム）の形成

最重点課題	分類	中期目標 (2019~2023 年度)	中期目標：客観指標 (2019~2023 年度)
(5) 地域連携および国際化の推進と発展 (4) 内部質保証システムの再整備および教学マネジメント体制の構築・アセスメントポリシーに基づいた学修成果の可視化 (3) 社会福祉学部の学科再編および小学校教諭養成課程による人材養成の展開と定員確保 (2) 学部・学科・研究科の強みの強化・発展と打ち出し (1) 建学の精神を基盤とした教育および人材育成	看護学研究科	①保健医療福祉分野のイノベーションをリードするため、高度な専門的知識と技能を有し社会の指導的立場に立つ高度専門職者及び分野の発展に寄与する創造性豊かな研究者・教育者を育成する。 ②研究活動を発展させ、その成果を国内外に還元して、保健医療福祉の新たな知の創造を目指す。 ③アジアを中心としたグローバルな保健医療福祉の研究・教育拠点を形成する。	○前期・後期大学院生の定員充足 ○学部からの進学者数：10%以上 ○各研究科留学生：1名以上 ○国際コンファレンスの定例開催
	リハビリテーション科学研究科		
	社会福祉学研究科		
	教育	①学生の自律学修を促し創造性を養うため、アクティブラーニングによる授業を推進し、ICTの活用や地域における実践活動による教育方法を開発する。 ②学位授与方針に適した保健医療福祉の専門職を輩出するため、適正な成績評価を実施する。 ③国際社会に貢献できる人材を育成するため、学生及び教員の英語教育と国際交流・活動を推進する。	○地域実践 AL、国際実践 AL の実践活動と参加学生の推移 ○AL の科目割合：開講科目 50%以上 ○ICT 活用科目：開講科目 50%以上 ○レポート評価・演習・実習科目におけるルーブリック活用：全科目実施 ○DP 到達評価、社会人基礎力評価の実施（学生－教員－教学改革） ○学生の国際研修、国際支援 AL の参加推移 ○ティーチング・ポートフォリオの全科目実施 ○外国語のみの授業の展開：各学部 3 科目（共通科目含む）
	研究	①研究活動を発展させ、その成果を国内外に還元して、保健医療福祉・教育の学術の発展に寄与する。	○科研申請率：80% ○科研採択率：30% ○年間 1 教員 1 学会発表（公演等含）・1 論文発表（書籍等含）
	学生支援	①隣人愛の精神のもと愛と活気あるグローバルキャンパスを作る。 ②学修につまずきのある学生に対する全学的な支援体制を整備する。 ③健やかで豊かな学生生活を実現するため、学生の心身の健康や生活及び経済的な支援を充実する。	○事件・事故の発生件数：前年度以下
FD	①学生支援並びに教育に向けた教職員の資質向上を目指し、各種研修会の充実と教職員・学生の連携を促す。	○学部 FD 研修会、全学 FD/SF 研修会：参加率 100% ○授業評価の実施：100% ○ピアレビューの実施：100% ○学生評価指標	

中期計画（2021～2023 年度）	短期計画（2019～2020 年度）
<ul style="list-style-type: none"> ○学部・学科・研究科の教育特徴の創出 ○学内循環型の人材育成の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○学部・学科・研究科の教育特徴の創出 ○学内循環型の人材育成の推進 ○地域の専門職、就職先等の声を反映した教育機関・病院施設等との連携とキャリア教育の充実 ○卒業生及び同窓会との強固な相互支援体制の構築
<ul style="list-style-type: none"> ○博士前期・後期（5 年間）一環コース設計と開設 ○国際共同研究・国際共同教育の実践 ○研究成果の公表方法の検討・確立（出版会等） ○大型プロジェクト研究補助金への申請 	<ul style="list-style-type: none"> ○聖隷国際研究コンファレンス（SIRC）の開催・発展 ○他大学大学院との共同研究・単位互換制度の立案（連携大学院） ○リハビリテーション教育学コースの開設と研究科の教育特徴の創出
<ul style="list-style-type: none"> ○地域共生社会に向けた研究と実践 ○子どもの貧困と政策・実践課題の拠点形成 ○「2025 年問題」への政策・実践課題の拠点形成 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域共生社会の形成に向けた研究と実践 ○在留外国人の社会福祉に関する研究と実践 ○卒業生・専門職者・当事者団体との公開講座 ○高度専門職育成のための研究課程の変更
<ul style="list-style-type: none"> ○アセスメントポリシーに基づく教育成果の可視化による教育と人材養成の質保証（学問分野別の質保証）の体制の構築 ○ICT 活用や e ポートフォリオ等の学修ツールの活用定着 ○地域実践アクティブラーニング、国際実践アクティブラーニングの発展的展開 ○英語のみの授業の展開 	<ul style="list-style-type: none"> ○初年次教育の充実：新入生の意識改革（プレースメントテスト、DP と DP 到達評価、社会人基礎力、カリキュラムマップ、シラバス・・・） ○ICT を活用した教育の促進、主体的学修の推進や e ポートフォリオ等の学修ツールの活用 ○地域実践アクティブラーニング、国際実践アクティブラーニングの展開による多職種連携協働、アクティブラーニングの推進 ○アセスメントポリシーに基づく教育成果の可視化の実施・運用（WebClass 活用）と公表、ティーチング・ポートフォリオの検討
	<ul style="list-style-type: none"> ○科研費等学外研究費獲得の推進 ○共同研究学長奨励研究枠の見直し ○産学連携事業・研究の推進のための学内の基盤整備
<ul style="list-style-type: none"> ○学生の支援体制（健康管理・学修支援・経済支援）の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○建学の精神と、自校愛の醸成に向けた学生との協働 ○学部を超えた学生交流の機会創出 ○国際人育成のためのグローバルキャンパス ○学習支援室の開設と運用 ○修学支援新制度（給付型奨学金、授業料減免）の運用
<ul style="list-style-type: none"> ○FD 委員会を主体とした、教職－学生共同による全学の学生支援・教育改善に向けた支援体制の構築 	<ul style="list-style-type: none"> ○教職と学生共同による、全学の学生支援・教育改善に向けた教務・学生・FD が一体となった活動の推進 ○授業評価、およびピアレビューによる着実な授業改善 ○学生 FD 委員の育成と教育改善への参画

最重点課題	分類	中期目標（2019～2023年度）	中期目標：客観指標（2019～2023年度）
(5) 地域連携および国際化の推進と発展 (4) 内部質保証システムの再整備および教学マネジメント体制の構築…アセスメントポリシーに基づいた学修成果の可視化 (3) 社会福祉学部の学科再編および小学校教諭養成課程による人材養成の展開と定員確保 (2) 学部・学科・研究科の強みの強化・発展と打ち出し (1) 建学の精神を基盤とした教育および人材育成	ICT	①社会の技術革新に適う人材育成に向けた、ICT等の教育ツールの活用と教育・学生支援を充実する。	○PCやタブレット等の活用状況
	就職・キャリア支援	①学生の希望と適正にかなうキャリア教育と進路支援・指導の充実を図る。 ②卒業生の母校への絆を育成するため、大学と卒業生及び同窓会の連携の強化を図る。	○就職率100% ○卒業生満足度「進路について：希望する進路先に就職、または進学することができた」：70%以上 ○同窓会入会率：100%
	地域連携	①地域の保健医療福祉の発展と地域振興に資する大学として、自治体や他大学等と連携共働の事業を推進する。	○浜松市との保健医療福祉の共働事業 ○プレスリリース等による広報活動
	国際化	①グローバル化を発展させるため、本学の資源を活用して、アジアを中心とした国及び地域・機関等と共同事業や人材育成を発展させる。 ②留学生の受け入れのための基盤整備を充実させる。（経済支援、学内組織、教育体制、教員の英語力強化の取り組み）	○「私立大学等改革総合支援事業」（タイプ4「グローバル化」）のポイント ○留学生受け入れ：5名 ○留学生基金の推移 ○国際実践ALの事業と参加学生の定着：20%以上
	学生募集	①入学者受け入れ方針（AP）に適した入学目標者数を確保する。 ②こども園から大学・大学院、卒業生循環型の募集活動を推進する。 ③保健医療福祉の総合大学としての価値とブランド力の向上を図るため、情報と企画に基づく戦略的な広報活動を展開する。 ④入学後の成績等を追跡調査し、選抜方法の妥当性を検証する。	○定員充足率：100% ○メディア掲載数：20件/年間 ○併設高校進学者割合：20%
基盤整備	(1) 組織運営 ①社会の情勢変化や保健医療福祉分野へのニーズに対応し、また大学ブランド力を発展させるため、学部・研究科の体制を有効・効果的かつ柔軟に編成・整備する。 ②大学の継続的発展のため、卒業生の中から本学の将来を担う優秀な人材を育成して、本学の歴史と教育理念を継承する。 ③教育研究並びに諸活動の質の向上を促すため、公正かつ適切な教員評価を実施する。 ④次世代を担う幹部教職員を育成し、活力あるイノベティブな教職員組織を形成する。 ⑤業務の効率化・合理化とコスト管理を行い、資源の有効活用を促す。	○人件費比率65%未満 ○教員一人あたりの学生配置数：13人未満 ○教員年齢分布：40未満1/6、41～50歳2/6、51～60歳2/6、61歳以上1/6 ○卒業生・大学院修了生の教員配置：1/3 ○地域指定校制特別奨学生（卒業生）からの大学院進学者（割合）と本学教員採用 ○幹部教職員の育成	

中期計画（2021～2023 年度）	短期計画（2019～2020 年度）
<ul style="list-style-type: none"> ○全学 ICT 化 ○PC 室の再整備 ○オンデマンド授業の展開 	<ul style="list-style-type: none"> ○ICT 活用や e ポートフォリオ等の学修ツールの活用促進 ○学生のパソコン必携化に伴うパソコン・タブレットの活用支援体制の構築
<ul style="list-style-type: none"> ○地域包括ケア時代の変化に対応した就職支援および病院施設との連携強化 ○卒業生同士のネットワーク構築支援を通し、大学・卒業生・同窓会の絆を育成 	<ul style="list-style-type: none"> ○卒業生の生涯学習とスキルアップを支援するリカレント教育体制の構築 ○卒業生及び同窓会との強固な相互支援体制の構築
<ul style="list-style-type: none"> ○保健医療福祉分野で浜松市との強固な協働関係の構築 ○大学-地域連携による教育・研究・実践の地域モデルの構築「(仮) 地域共生学センター」の設置 	<ul style="list-style-type: none"> ○浜松市との連携協定に基づく連携協働の推進（政策提言や「SCU オープンカレッジ」含む） ○浜松市との連携事業「大学生による講座」の展開と広報
<ul style="list-style-type: none"> ○グローバル化の発展に向けた教育環境の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ○国際支援・援助事業（国際支援アクティブラーニング）の展開 ○優秀な外国人留学生受け入れ、留学生基金制度の運用と、協力施設との共同事業 ○学生、教職員の語学研修（サークル等）
<ul style="list-style-type: none"> ○定員確保に向けた取り組み ○こども園から大学・大学院、卒業生循環型の学生募集体制の確立 ○高大連携校との強固な関係構築 ○入試制度改革の評価・見直し、2025 年度入試への対応 	<ul style="list-style-type: none"> ◇定員確保 ○募集広報活動の見直しと取り組み ○こども園から大学・大学院、卒業生循環型の募集活動の検討 ○高大連携校との協働プロジェクト推進及び連携協定の締結 ◇入試改革 ○2021 年度入試に向けた、「学力の 3 要素」を多面的・総合的に評価する新入試制度の導入 ○アドミッション・オフィサーの役割と業務の明確化、評価業務への参画
<ul style="list-style-type: none"> ○人件費比率 65%未満 ○教員配置、非常勤講師、補助教員の適正配置 ○地域指定校制特別奨学生（卒業生）の教員採用 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 組織運営に関する事項 ○人件費比率 65%未満を目標とした取り組み ○教員評価制度の評価と改善 ○教員配置、非常勤講師、補助教員の適正配置に向けたチェック体制の整備 ◇教職員の働き方改革 ○組織運営・資源（人・金・物・時間）活用の見直し ○働き方改革関連法施行に伴う教員の働き方改革の実質運用

最重点課題	分類	中期目標（2019～2023 年度）	中期目標：客観指標（2019～2023 年度）
(5) 地域連携および国際化の推進と発展 (4) 内部質保証システムの再整備および教学マネジメント体制の構築…アセスメントポリシーに基づいた学修成果の可視化 (3) 社会福祉学部の学科再編および小学校教諭養成課程による人材養成の展開と定員確保 (2) 学部・学科・研究科の強みの強化・発展と打ち出し (1) 建学の精神を基盤とした教育および人材育成	基盤整備	(2) 教育研究環境の整備 ① 快適な学習環境の実現と主体的な学修の推進および学修力の向上を促すため、教育環境の点検と整備・充実を図る。 ② 教育研究環境の充実を図るため、各種補助金を獲得及び教育発展基金を開設する。	○ 教育改革推進経費（学長裁量経費）の見直し（教育研究経費の5%以上） ○ 「私立大学等改革総合支援事業」（タイプ1「教育の質的転換」）の採択 ○ 「私立大学等改革総合支援事業」（タイプ5「プラットフォーム形成」）の採択 ○ 他大学との教養教育共同化及び単位互換 ○ 教育発展基金：100万/年間
		(3) 内部質保証及び情報公開 ① 内部質保証システムを有効に機能させ、自律的に自己点検・評価と改善を図るとともに、適切に情報公開する。	○ IR 有効活用等による教学マネジメントの体制構築と適切な運用（PDCA サイクル） ○ 認証評価受審適合判定（2022）
		(4) 安全管理 ① 安心・安全な教育研究環境を提供するため、学内・職場の安全・衛生管理の推進、及び情報セキュリティの基本方針に沿った情報管理に努める。	○ コンプライアンス案件：0 ○ ハラスメント案件：0 ○ 教職員のストレスマネジメント：偏差値50
		(5) その他 ① 学園の将来構想（グローバルスクール：大学学位プログラム構想、メディカルスクールの設置）に向けた大学改革を構想する	○ 大学の将来構想の設計

中期計画（2021～2023 年度）	短期計画（2019～2020 年度）
<ul style="list-style-type: none"> ○教養教育（共通科目）の見直し（教養教育共同化や単位互換制度） ○教育発展基金の開設（制度・受け入れ窓口の開設） ○ICT 環境の高度化、情報システムの統合・集約（認証方法の統一、情報の一元化） ○PC 室の活用と全学教室活用の再整備 	<ul style="list-style-type: none"> (2) 教育環境に関する事項 ○修学支援新制度（給付型奨学金、授業料減免）の運用 ○スクールバスの検討と適正運用 ○「私立大学等改革総合支援事業」（タイプ1「教育の質的転換」）の採択 ○「ふじのくに地域・大学コンソーシアム」（プラットフォーム形成推進委員会） ○教養教育（共通科目）の見直し（教養教育共同化や単位互換制度）の検討
<ul style="list-style-type: none"> ○内部質保証システムと自律的な自己点検評価体制の確立 ○認証評価受審の準備（2022） 	<ul style="list-style-type: none"> (3) 自己点検評価及び情報公開 ○内部質保証システムの再構築 ○学部・大学院 DP ルーブリックの策定 ○IR 部門の機能強化、及びデータの有効活用
<ul style="list-style-type: none"> ○リスクマネジメントの強化 ○災害時のBCP（事業継続計画）の策定の検討 	<ul style="list-style-type: none"> (4) 安全管理 ○情報セキュリティ及び各種の危機管理とリスクマネジメント
<ul style="list-style-type: none"> ○大学の将来構想の設計（学位プログラム：国際健康科学（プレメディカルプログラム、国際教育（グローバル教育プログラム）） 	<ul style="list-style-type: none"> ○大学の将来構想の検討（学位プログラム：国際健康科学（プレメディカルプログラム、国際教育（グローバル教育プログラム））

＜短期計画＞ 進捗評価

進捗評価〔◎：実施済み、完了している。 ○：実施中、今後継続する。 △：未実施〕

最重点課題	分類	短期計画（2019～2020年度）	進捗評価
(5) 地域連携および国際化の推進と発展 (4) 内部質保証システムの再整備および国際化の推進と発展 (3) 社会福祉学部の学科再編および小学校教諭養成課程による人材養成の展開と定員確保 (2) 学部・学科・研究科の強みの強化・発展と打ち出し (1) 建学の精神を基盤とした教育および人材育成	看護学部	○学部・専攻科－大学院（CNS含む）－特定行為研修が有機的に機能する組織・教育体制の整備（領域再編・教員配置・教育課程等の検討） ○パソコン必携化に向けて教員の授業へのパソコン・タブレット等の活用促進 ○教員充足と人材育成 ○シミュレーション教育を中心とした学内教育環境の整備	○ ◎ ○ ○
	社会福祉学部	○介護福祉学科・社会福祉学科統合の着実な教育実施人材育成の発展 ○児童福祉領域の強化 ○小学校教職課程の着実な教育実施と発展	○ ○ ○
	リハビリテーション学部	○国際リハビリテーションコースの着実な展開 ○定員充足のための着実な広報活動 ○自治体、企業、病院・施設、他大学等との連携体制（プラットフォーム）の形成	○ ○ ○
	看護学研究科	○学部・学科・研究科の教育特徴の創出 ○学内循環型の人材育成の推進 ○地域の専門職、就職先等の声を反映した教育機関・病院施設等との連携とキャリア教育の充実・ ○卒業生及び同窓会との強固な相互支援体制の構築	○ ○ ○ ○
	リハビリテーション科学研究科	○聖隷国際研究コンファレンス（SIRC）の開催・発展 ○他大学大学院との共同研究・単位互換制度の立案（連携大学院） ○リハビリテーション教育学コースの開設と研究科の教育特徴の創出	○ ○ ○
	社会福祉研究科	○地域共生社会の形成に向けた研究と実践 ○在留外国人の社会福祉に関する研究と実践 ○卒業生・専門職者・当事者団体との公開講座	◎ ○ ○
	教育	○初年次教育の充実：新入生の意識改革（プレイスメントテスト、DPとDP到達評価、社会人基礎力、カリキュラムマップ、シラバス） ○ICTを活用した教育の促進、主体的学修の推進やeポートフォリオ等の学修ツールの活用 ○地域実践アクティブラーニング、国際実践アクティブラーニングの展開による多職種連携協働、アクティブラーニングの推進 ○アセスメントポリシーに基づく教育成果の可視化の実施・運用（WebClass活用）と公表、ティーチング・ポートフォリオの検討	○ ○ ○ ○
	研究	○科研費等学外研究費獲得の推進 ○共同研究学長奨励研究枠の見直し ○産学連携事業・研究の推進のための学内の基盤整備	○ ◎ ○
学生支援	○建学の精神と、自校愛の醸成に向けた学生との協働 ○学部を超えた学生交流の機会創出 ○国際人育成のためのグローバルキャンパス ○学習支援室の開設と運用	○ ○ △ ◎	

最重点課題	分類	短期計画（2019～2020年度）	進捗評価
(5) 地域連携および国際化の推進と発展 (4) 内部質保証システムの再整備および教学マネジメント体制の構築・アセスメントポリシーに基づいた学修成果の可視化 (3) 社会福祉学部の学科再編および小学校教諭養成課程による人材養成の展開と定員確保 (2) 学部・学科・研究科の強みの強化・発展と打ち出し (1) 建学の精神を基盤とした教育および人材育成	F D	○教職と学生共同による、全学の学生支援・教育改善に向けた教務・学生・FDが一体となった活動の推進 ○授業評価、およびピアレビューによる着実な授業改善 ○学生FD委員の育成と教育改善への参画	○ ○ ○
	I C T	○ICT活用やeポートフォリオ等の学修ツールの活用促進 ○学生のパソコン必携化に伴うパソコン・タブレットの活用支援体制の構築	◎ ◎
	就職・キャリア支援	○卒業生の生涯学習とスキルアップを支援するリカレント教育体制の構築 ○卒業生及び同窓会との強固な相互支援体制の構築	○ ○
	地域連携	○浜松市との連携協定に基づく連携協働の推進（政策提言や「SCUオープンカレッジ」含む） ○浜松市との連携事業「大学生による講座」の展開と広報	○ ○
	国際化	○国際支援・援助事業（国際支援アクティブラーニング）の展開 ○優秀な外国人留学生受け入れ、留学生基金制度の運用と、協力施設との共同事業 ○学生、教職員の語学研修（サークル等）	○ ○ ○
	学生募集	◇定員確保 ○募集広報活動の見直しと取り組み ○こども園から大学・大学院、卒業生循環型の募集活動の検討 ○高大連携校との協働プロジェクト推進及び連携協定の締結 ◇入試改革 ○2021年度入試に向けた、「学力の3要素」を多面的・総合的に評価する新入試制度の導入 ○アドミッション・オフィサーの役割と業務の明確化、評価業務への参画	○ ○ ○ ○ ○
	基盤整備	(1) 組織運営に関する事項 ○人件費比率65%未満を目標とした取り組み ○教員評価制度の評価と改善 ○教員配置、非常勤講師、補助教員の適正配置に向けたチェック体制の整備 ◇教職員の働き方改革 ○組織運営・資源（人・金・物・時間）活用の見直し	○ ○ ○ ○
		(2) 教育環境に関する事項 ○学費無償化に向けた整備 ○スクールバスの検討と適正運用 ○「私立大学等改革総合支援事業」（タイプ1「教育の質的転換」）の採択 ○「ふじのくに地域・大学コンソーシアム」（プラットフォーム形成推進委員会） ○教養教育（共通科目）の見直し（教養教育共同化や単位互換制度）の検討	◎ ○ ○ ○ △
		(3) 自己点検評価及び情報公開 ○内部質保証システムの再構築 ○学部・大学院DPルーブリックの策定 ○IR部門の機能強化、及びデータの有効活用	◎ ◎ ○
		(4) 安全管理 ○情報セキュリティ及び各種の危機管理とリスクマネジメント ○大学の将来構想の検討	◎ ○

中長期財務計画 学園全体【2018年度決算-2021年度】

◆事業活動収支計算書

(単位:千円)

主な事業計画(要因)	小学校校舎 建築開始	小学校校舎建築 小学校教員採用 消費税10%(10月)	小学校校舎建築 小学校教員採用 消費税10%(10月)	小学校開校 (1.3.5学年)	小学校 全学年開校
項目	2018年度 決算	2019年度 予算	2019年度 決算	2020年度 中長期	2021年度 中長期
学生生徒等納付金	2,622,867	2,592,759	2,613,134	2,740,381	2,844,201
事業活動収入 ①	3,700,755	3,531,348	3,656,600	3,709,340	3,845,319
人件費 ④	2,347,868	2,350,482	2,338,083	2,443,433	2,509,717
教育研究経費	759,069	844,727	750,261	919,297	921,098
管理経費	287,131	295,990	324,037	296,991	302,342
その他支出(借入金利息等)	54,011	48,914	51,418	46,528	22,635
事業活動支出②	3,448,079	3,540,113	3,463,799	3,706,249	3,755,792
事業活動収支差額③(①-②)	252,676	△ 8,765	192,801	3,091	89,527
		2019予算との差	201,566		
事業活動収支差額比率③/① (事業活動収支差額/事業活動収入)	6.8%	△ 0.2%	5.3%	0.1%	2.3%
人件費比率④/① (事業活動収支差額/事業活動収入)	63.4%	66.6%	63.9%	65.9%	65.3%
◆資金収支計算書					
資金収支 収入 計 ⑤	3,693,503	3,569,673	3,649,449	3,799,402	3,873,139
借入金返済、返済利息	181,610	179,027	179,345	176,641	176,155
施設設備費(固定資産)	142,015	122,295	1,303,357	130,724	107,688
小学校設置費用(校舎建築・備品・バス)	45,208	1,237,270	1,150,977	0	0
資金収支 支出 計 ⑥	3,364,769	4,892,211	4,633,911	3,801,517	3,744,042
資金収支差額 ⑦ (⑤-⑥)	328,734	△ 1,335,138	△ 1,125,082	△ 2,115	129,097
次年度繰越支払資金⑧	5,257,116	3,921,978	4,132,034	3,932,463	4,061,560
		2019予算との差	210,056		

中長期財務計画においては、教育研究保育環境の充実・整備を図りつつ、中長期経営計画実現に向け財源を継続して確保する必要があります。

財務計画は主な要点をベースとし、財務構造を人件費 60～65%、教育研究経費 20～25%、管理経費 5～7%、収支差額 3～7%を目安に策定しております。また、施設設備においても、大学1号館は建築 25 年以上、2・3 号館と中高校舎は 15 年以上となり、計画的に修繕を行う計画をしており、特に環境面、経費面から、2017 年度からエアコン取替工事や校舎内蛍光灯の LED 化を計画し、毎年実行しております。

事業の継続ならびに新規構想の推進には財政基盤の強化が必要であり、自主財源の確保は、入学入園者見込数を確実に確保していくこと、支出については、その 60%以上を占める人件費政策を行うことが必須となります。

2019 年度においては、小学校開設費用として約 12 億円執行しました。これらの支出は、中長期財務計画の想定内であり、2019 年度当初予算に比べ約 2 億円収支差額が好転しております。

聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校

2020 年度は以下の 4 項目に重点を置き学校運営を推進します。

- 1 入学者を確保するための学生募集活動
- 2 介護福祉士としての基礎力を涵養する教育の徹底
 - (1) 主体的に学修できるような授業展開を図る。
 - (2) 国家試験に全員が合格するよう学生の個別指導の徹底を図る。
- 3 学生支援の充実
- 4 外国人留学生の受け入れ後の対応

◆ 学生募集の推移

		入学定員	2020年度入学		2019年度入学		2018年度入学	
			志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者
大学院	看護学研究科	15	11	10	11	9	18	17
	博士前期課程	10	6	5	7	6	11	11
	博士後期課程	5	5	5	4	3	7	6
	社会福祉学研究科	13	10	5	4	4	7	6
	博士前期課程	10	3	2	2	2	4	3
	博士後期課程	3	7	3	2	2	3	3
	リハビリテーション科学研究科	20	17	15	14	13	13	13
	博士前期課程	15	12	10	12	11	10	10
	博士後期課程	5	5	5	2	2	3	3
大学院合計		48	38	30	29	26	38	36
大学	看護学部	150	696	158	742	158	712	174
	看護学科	150	696	158	742	158	712	174
	助産学専攻科	15	40	17	31	17	29	17
	社会福祉学部	120	257	101	276	93	213	66
	社会福祉学科	65	130	52	121	44	104	36
	編入学	15	5	5	0	0	1	0
	介護福祉学科	-	-	-	48	16	33	6
	編入学	-	-	-	3	3	3	3
	こども教育福祉学科	40	122	44	104	30	72	21
	リハビリテーション学部	95	610	108	549	125	528	111
	理学療法学科	40	321	46	267	56	277	47
	作業療法学科	30	183	34	159	38	153	34
	言語聴覚学科	25	106	28	123	31	98	30
	大学合計		380	1,603	384	1,598	393	1,482
総合計		428	1,641	414	1,627	419	1,520	404

		入学定員	2020年度入学		2019年度入学		2018年度入学	
			志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者
介護福祉専門学校		40	20	19	29	27	21	21

◆ 国家試験合格率の推移

看護師・保健師・助産師国家試験の合格率（新卒者）

資格名	所属	2019年度		2018年度		2017年度	
		全国平均	本学	全国平均	本学	全国平均	本学
看護師	大学	94.7%	97.4%	94.7%	98.7%	96.3%	99.4%
保健師	大学	88.1%	96.6%	88.1%	86.7%	85.6%	88.7%
助産師	専攻科	99.5%	100.0%	99.9%	100.0%	99.4%	100.0%

社会福祉士・精神保健福祉士国家試験の合格率（新卒者）

資格名	2019年度		2018年度		2017年度	
	全国平均	本学	全国平均	本学	全国平均	本学
社会福祉士	49.2%	56.0%	53.7%	55.7%	54.6%	49.4%
精神保健福祉士	84.2%	74.0%	77.0%	100.0%	76.9%	76.5%

理学療法士・作業療法士・言語聴覚士国家試験の合格率（新卒者）

資格名	2019年度		2018年度		2017年度	
	全国平均	本学	全国平均	本学	全国平均	本学
理学療法士	93.2%	100.0%	92.8%	100.0%	87.7%	100.0%
作業療法士	94.2%	90.6%	80.0%	88.9%	85.2%	85.7%
言語聴覚士	65.4%	78.6%	68.9%	61.3%	79.3%	94.4%

介護福祉士国家試験の合格率（新卒者）

資格名	2019年度			2018年度		
	全国平均	社会福祉学部介護福祉学科	介護福祉専門学校	全国平均	社会福祉学部介護福祉学科	介護福祉専門学校
介護福祉士	80.0%	100.0%	88.2%	83.7%	91.7%	91.3%

◆ 卒業生・修了生の進路状況（大学）

2019年度 卒業生・修了生の進路状況

看護学部卒業生の内訳

（単位：人）

卒業生数	156	内訳		静岡県内	静岡県外
		看護師	保健師		
就職者数	141	135	6	102	33
進学者数	10			5	1
その他（*1）	5				

（*1）「その他」は就職しない者3名、アルバイト2名です。

聖隷三方原病院…23名、聖隷浜松病院…38名、聖隷横浜病院…9名

聖隷佐倉市民病院…2名、浜松市リハビリテーション病院…8名

袋井市立聖隷袋井市民病院…1名、聖隷富士病院…1名、聖隷保健事業部…3名

合計 85名（就職者の 60.3%）

助産学専攻科修了生の内訳

修了生数	17	内訳		静岡県内	静岡県外
就職者数	17	助産師	17	13	4

聖隷三方原病院…3名、聖隷浜松病院…5名 合計8名（就職者の47.1%）

社会福祉学部社会福祉学科、介護福祉学科卒業生の内訳

卒業生数	43 (社37/介6)	内訳		静岡県内	静岡県外
就職者数	39 (社33/介6)	福祉施設	20/6	18/5	2/1
		医療機関	10/0	7/0	3/0
		公務員	2/0	1/0	1/0
		その他	1/0	1/0	0/0
その他(*1)	4 (社4/介0)				

(*1)「その他」は就職を希望しない者3名、アルバイト1名です。

聖隷福祉事業団…5名（就職者の12.8%）

社会福祉学部こども教育福祉学科卒業生の内訳

卒業生数	32	内訳		静岡県内	静岡県外
就職者数(*1)	29	公立幼稚園・保育園	5	5	0
		私立幼稚園	0	0	0
		こども園	6	6	0
		民間保育園	10	7	3
		社会福祉施設	5	4	1
		公務員	1	1	0
		一般企業	2	2	0
進学者数	2				
その他(*2)	1				

(*1) 聖隷福祉事業団(保育士)への就職者は、こども園4名、民間保育園1名と計上しました。

聖隷福祉事業団…1名 合計6名（就職者の20.7%）

(*2)「その他」はアルバイト1名です。

リハビリテーション学部卒業生の内訳

卒業生数	104	内訳		静岡県内	静岡県外
就職者数	95	理学療法士	42	29	13
		作業療法士	29	18	11
		言語聴覚士	20	11	9
		その他	4	4	0
その他(*1)	9				

(*1)「その他」は就職活動中2名、就職しない者6名、アルバイト1名です。

聖隷福祉事業団…18名、聖隷沼津病院…1名 合計19名（就職者の20.0%）

◆ 就職支援（大学）

2019年度 主な就職支援プログラム			
4月	春semester進路ガイダンス 【看】看護師国試対策講座 【看】保健師ガイダンス 【介】介護福祉士国試対策講座	10月	公務員試験対策講座 【社・介・こ】社会福祉士国試対策講座 【介】介護福祉士国試対策講座
5月	【看】進路ガイダンス 【社・介・こ】社会福祉士国試対策講座 【PT・OT・ST】進路ガイダンス	11月	【看】看護師・保健師共通国試対策講座 【看】4年次生による就職活動報告会 【社・介・こ】社会福祉士国試対策講座 【社・介・こ】就職先研究（聖隷福祉事業団） 【こ】就職先研究（聖隷福祉事業団） 【社・介・こ】就職先研究（天竜厚生会） 【社・介・こ】4年次生による就職活動報告会 【社・介・こ】卒業生による福祉の仕事報告会 【こ】卒業生との懇談会 【介】介護福祉士国試対策講座 【PT・OT】リハビリテーション国試対策講座
6月	公務員対策講座説明会 【介】介護福祉士国試対策講座	12月	【社・介・こ】社会福祉士国試対策講座 【社・介・こ】SPI対策模擬テスト 【介】介護福祉士国試対策講座 【こ】4年次生による就職活動報告会
7月	【看】進路ガイダンス 【社・介・こ】社会福祉士国試対策講座 【PT・OT】進路ガイダンス	1月	【看】進路ガイダンス 【看】看護師国試対策講座 【看】保健師国試対策講座 【社・介・こ】社会福祉士国試対策講座 【介】介護福祉士国試対策講座 【PT・OT】4年次生による就職活動報告会 【PT・OT】就職先研究（聖隷福祉事業団）
8月	公務員試験対策講座 【看】看護師国試対策講座 【社・介・こ】社会福祉士国試対策講座 【ST】進路ガイダンス 【PT・OT・ST】病院・施設説明会（静岡近隣県） 【PT・OT・ST】病院・施設説明会（聖隷関係）	2月	卒業時ガイダンス 【看】進路ガイダンス 【看】卒業生と在学生との懇談会 【社・介・こ】スーツ着こなし講座 * 【社・介・こ】メイクアップ講座 【社・介・こ】SPI対策模擬テスト 【PT・OT・ST】就職マナー・面接対策講座 【PT・OT・ST】スーツ着こなし講座 * 【PT・OT・ST】メイクアップ講座 【ST】就職先研究（聖隷福祉事業団）
9月	秋semester進路ガイダンス 公務員試験対策講座 【看】保健師国家試験対策講座 【社・介・こ】社会福祉士国試対策講座	3月	論作文対策講座、筆記試験対策講座 * 【看】病院・施設説明会（聖隷関係） * 【看】病院説明会（静岡県・愛知県東部） 【看】就職マナー・面接対策講座 【看】スーツ着こなし講座 * 【看】メイクアップ講座 【看】保健師国家試験対策講座 * 【社・介・こ】大規模法人就職説明会 * 【社・介・こ】施設説明会（3年次対象） 【ST】4年次生による就職活動・国試報告会

※随時：進路相談、履歴書添削、模擬面接

※【看】：看護学部対象 【助】：助産学専攻科対象
 【社】：社会福祉学科対象 【介】：介護福祉学科対象 【こ】：こども教育福祉学科対象
 【PT】：理学療法学科対象 【OT】：作業療法学科対象 【ST】：言語聴覚学科対象
 *新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から延期

◆ 卒業生の進路状況（専門学校）

2019年度 卒業生の進路状況

（単位：人）

卒業生数	19	内訳		静岡県内	静岡県外
就職者数	14	介護福祉士	14	13	1
進学者数	4				
その他(*1)	1				

(*1)「その他」は就職しない者1名です。

聖隷福祉事業団…5名、十字の園…1名 合計6名（就職者の42.9%）

◆ 就職支援（専門学校）

2019年度 主な就職支援プログラム			
4月	進路ガイダンス	10月	2年次生による就職活動報告会
5月	社会人になるための基礎講座 就活マナー講座 スーツ着こなし講座 メイクアップ講座	11月	卒業生と在学生との懇談会
6月		12月	履歴書の書き方・面接の受け方講座
7月		1月	
8月		2月	就職内定後の心構え・社会人としての心構え講座 卒業時ガイダンス
9月	進路ガイダンス	3月	聖隷福祉事業団採用試験説明会 進路ガイダンス

※随時：進路相談、履歴書添削、模擬面接

◆ 2019年度大学学部別・専門学校奨学金受給状況

○看護学部

学年	菅野・太田・長谷川奨学会	大学同窓会・後援会奨学金	聖隷グループ奨学会	日本学生支援機構				浜松市奨学金	K.M.奨学金	M.H.奨学金	難波千鳥奨学金	廣田育英会	合計	
				合計	一種	二種	給付						貸与人数	受給割合
1年次生	0		32	51	32	18	1	0	0			0	83	52.5%
2年次生	1	0	40	63	29	33	1	1	0			0	105	61.8%
3年次生	1	0	45	46	18	28	0	1	1	1	1	1	97	65.1%
4年次生	3	1	76	60	29	31	0	0	1	1	0	0	142	91.0%
合計	5	1	193	220	108	110	2	2	2	2	1	1	427	67.5%

○助産学専攻科

学年	菅野・太田・長谷川奨学会	聖隷グループ奨学会	日本学生支援機構				静岡県看護職特別	静岡県看護協会	合計	
			合計	一種	二種	貸与人数			受給割合	
1年次生	0	6	2	1	1	7	0	15	88.2%	

○社会福祉学部

学年	菅野・太田・長谷川奨学会	大学同窓会・後援会奨学金	聖隷グループ奨学会	日本学生支援機構				静岡県介護福祉士	静岡県保育士	K.M.奨学金	難波千鳥奨学金	廣田育英会	ニッセイ聖隷奨学金	合計	
				合計	一種	二種	給付							貸与人数	受給割合
1年次生	0		0	23	12	10	1	5	4			0	0	32	35.6%
2年次生	1	0	2	29	14	15	0	0	1	1		0	0	34	56.7%
3年次生	0	0	0	23	9	13	1	1	0	0	1	0	1	26	31.0%
4年次生	2	0	1	21	8	13	0	1	4	1	0	0	0	30	40.5%
合計	3	0	3	96	43	51	2	7	9	2	1	0	1	122	39.6%

○リハビリテーション学部

学年	菅野・太田・長谷川奨学会	大学同窓会・後援会奨学金	聖隷グループ奨学会	日本学生支援機構				浜松市奨学金	廣田育英会	ニッセイ聖隷奨学金	合計	
				合計	一種	二種	給付				貸与人数	受給割合
1年次生	0		0	56	30	25	1	1	0	0	57	46.0%
2年次生	0	0	2	61	35	21	5	0	0	0	63	56.8%
3年次生	0	0	1	55	28	27	0	2	1	0	59	57.8%
4年次生	1	0	4	42	16	26	0	1	0	0	48	45.3%
合計	1	0	7	214	109	99	6	4	1	0	227	51.2%

○大学院博士前期課程

学年	日本学生支援機構			静岡県看護職員修学資金	合計	
	合計	一種	二種		貸与人数	受給割合
1年次生	2	1	1	2	4	21.1%
2年次生	1	0	1	5	6	18.8%
合計	3	1	2	7	10	19.6%

○大学院博士後期課程

学年	日本学生支援機構			合計	
	合計	一種	二種	貸与人数	受給割合
1年次生	0	0	0	0	-
2年次生	0	0	0	0	-
3年次生	0	0	0	0	-
合計	0	0	0	0	-

○介護福祉専門学校

学年	菅野・太田・長谷川奨学会	日本学生支援機構				静岡県介護福祉士修学資金	聖隷福祉事業団奨学金	クリスチャー介護福祉士奨学金	天竜厚生会介護福祉士奨学金	合計	
		合計	一種	二種	給付					貸与人数	受給割合
1年次生	0	1	0	1	0	4	5	3	0	13	52.0%
2年次生	0	0	0	0	0	6	4	1	0	11	55.0%
合計	0	1	0	1	0	10	9	4	0	24	53.3%

※受給割合は、学生数に対する受給者の延べ人数の割合を示す

※受給割合は、2020年3月時点データ

※聖隷病院就職内定者の奨学金受給者を含む

◆グローバル教育推進

2019年度の本学の交流協定締結校は、陸軍軍医大学（中国・旧第三軍医大学）、ナンヤン理工学院（シンガポール）、サミュエルメリット大学（アメリカ）、シンガポール工科大学、イーデス・コーワン大学（オーストラリア）、シアトルパシフィック大学（アメリカ）、モンタナ大学（アメリカ）、ハワイ大学マノア校（アメリカ）、中山大學（中国）の9校です。

2019年度は、学生主体の国際交流として下記の派遣・受入れプログラムを実施しました。なお、2020年2月～3月に予定していた派遣プログラム6件、受入れプログラム3件、教員研修受入れ1件、また、2020年2月17日～2月18日に予定していた本学大学院主催の聖隷国際研究コンファレンス・シンポジウム2020は、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となりました。

【学生派遣】

プログラム		期間	対象	受入機関	参加学生	引率/巡回
海外研修	海外研修 (シンガポール)	9日間	全学部 全学年	ナンヤン理工学院	看護2年5名 看護1年13名 社福2年2名 計20名	教職員 2名
国際専門研修	シンガポール リハビリテーション 研修	9日間	リハビリテーション学部 理学療法学科・ 作業療法学科 2～4年次生	シンガポール工科大学	PT3年1名 PT2年5名 OT2年10名 計16名	教員2名
国際実習	国際看護実習	2週間	看護学部 4年次生	ナンヤン理工学院	看護4年2名 計2名	教員1名

【学生受入れ】

プログラム		期間	対象	研修・実習先	参加者
研修	Study Visit from Singapore Institute of Technology	7日間	シンガポール工科大学 理学療法学科・ 作業療法学科生	聖隷三方原病院、浜松市リハビリテーション病院、三方原ベテルホーム、聖隷デイサービス三方原、浜松十字の園、浜松市根洗学園、ワークセンター大きな木、メンタルクリニックダダ、ひだまりのみち・さんぽみち	学生20名 教職員2名 計22名
	Study Visit from Samuel Merritt University	8日間	サミュエルメリット大学 看護学部生	聖隷三方原病院、訪問看護ステーション(住吉、住吉第二、細江、高丘)	学生10名 教員2名 計12名
実習	Overseas Nursing Clinical Attachment Program from Nanyang Polytechnic	4週間	ナンヤン理工学院 ヘルス&ソーシャル サイエンス学部 看護学科生	聖隷三方原病院、聖隷浜松病院、浜名湖エデンの園、訪問看護ステーション貴布祢	実習生2名

【教員研修受入れ】

■サミュエルメリット大学

期 間：6月11日、12日 2日間

内 容：聖隷三方原病院、ぴあクリニック、虹の家

研修者：看護学部 内科・外科看護教員1名、精神看護教員1名

聖隷クリストファー高等学校

1. 2019年度の重点目標と振り返り

◆2019年度之最優先課題としては、次の2点が掲げられました。

【1】入学定員の確保：高校294名、中学70名

目標達成のための具体的行動目標としては、就学支援金制度の進展についての周知徹底、様々な工夫を凝らしての入試広報活動の再構築、グローバル教育やICT機器の活用により魅力ある学校づくりを目指す、教員の資質向上などを掲げました。

2020年度入試の結果、高校は317名入学(単願218名、併願戻り58名、内進生41名)と、定員数を超え、4年ぶりに300名台となりました。しかし、中学校入学者が22名という厳しい結果となりました。(詳細後述)

【2】学園グローバル人材養成構想のもと、小中高グローバルスクールとの相乗効果で、グローバル化を推進する。

中・高校舎の南側で小学校校舎の建築が進んでいくのを目の当たりにしながら1年間を過ごしました。小中高連絡プロジェクトが定期的に持たれ、校舎の共有部分や両者が相乗りするスクールバス運行についてなど、実務的な情報交換が行われました。教育内容についての相互の構想のすり合わせや連携については、今後の大きな課題となります。外国人教員が英会話と理科(当面はTTで)を担当する、中高の英語教員が小学校へ移動し教務を担当するなど、教員配置面での施策も緒に就きました。

従来から行われている留学生の受け入れやアジア学院との交流、海外への研修旅行などは、体験した生徒に深い印象を与えており、オンライン英会話授業も定着しました。

◆教員人事評価制度のスタートと教員の資質の向上

【1】学園が推進してきた人事評価制度の最後として、中高に関する規程が整備され施行が開始されました。「働き方改革」の推進＝教員の労働形態の改善と、教員の資質の向上、ひいては本校の教育の質的向上は、表裏一体であり相互作用によって、実現していくべきものです。

2019年度は教員人事評価制度をスタートさせました。自己目標・人事評価シートの提出に始まり、年度当初の面談、年度末の評価の開示と面談が行われました。慣れない中で戸惑いもありましたが、中・高校全体の事業計画・年間計画を、教員個々が自らの行動目標とどう結び付け、意図的に活動していくかを、意識付ける契機となりました。

2020年度には評価結果を処遇に反映しました。また、部活動指導については業務委託契約が開始されます。本校の教育全体において部活動がどのような位置を占め、重きをなすのかを改めて考えていかねばなりません。

【2】教員の資質の向上を目指す

教員の異動が少なく教員数にも限りがある私学において、教員の資質の向上とそれを保証する研修については、意識的、恒常的に努力しなければ停滞やマンネリ化をまねきます。このことを学校として今まで以上に自覚し、2019年度の行動目標として掲げ、研修委員会を独立させました。2020年度は授業公開を義務化し「授業改革・探究プロジェクト」を設置し、「わかる授業づくり」を推進します。

2019年度は、年間を通して月に一度、非常勤講師を含む全教員がチェックシートを提出し、自らを顧み姿勢を正す取り組みができたことは、特筆すべきことでした。日毎の勤務における細かなルールや心得、生徒との関わりにおける教員としてのモラルを、常に検証し自覚することができました。2020年度もこのチェックシートは継続、加えて教員の危機管理意識向上の研修も計画されています。

1) 生徒募集の推移

(単位：人)

	入学定員	2020年度入学者 (2019年度募集)		2019年度入学者 (2018年度募集)		2018年度入学者 (2017年度募集)	
		志願者数	入学者数	志願者数	入学者数	志願者数	入学者数
普通科・英数科	294	1,098	317	1,071	285	1,140	263

※中学校からの内進生を含みます。

2) 卒業生の進路状況

(単位：人)

	大学	短期大学	専門学校	受験準備	就職	留学	未定	合計
男子	80	1	19	1	9	0	1	111
女子	78	7	31	3	6	0	3	128
合計	158	8	50	4	15	0	4	239
比率	66.1%	3.3%	20.9%	1.7%	6.3%	0.0%	1.7%	100.0%

※未定(男子)は、就職準備のため自宅にて勉強中。

3) 大学合格実績

《国公立大学 21名》

名古屋市立大1名、静岡大6名、浜松医大(看護)1名、静岡県立大(国関1、看護2、食品栄養科学1)4名、高崎経済大1名、山梨大1名、新潟県立大1名、福井県立大1名、都留文科大1名、下関市立大1名、福島大1名、富山県立大1名、山陽小野田市立山口東京理科大1名

《私立大学 224名》

聖隷クリストファー大学41名(うち入学者33名)、国際基督教大2名、東京理科大1名、明治大1名、法政大2名、関西学院大3名、立命館2名、明治学院大2名、同志社女子大3名、獨協大1名、日本大1名、大東文化大1名、東海大5名、帝京大3名、京都産業大4名、中京大1名、名城大8名、愛知大1名、愛知学院大6名、東京農業大2名、神奈川大1名、工学院大3名、関東学院大4名、常葉大32名(看護1、理学5、作業2、こども4)、中部大9名(現代教育1)、金城学院大3名(薬1)、豊橋創造大9名(看護7、理学1)他

4) 就職実績

《就職内定者 17名》

国家一般職（中部運輸局静岡運輸支局）1名、静岡県警察2名、刑務官1名、海上自衛隊（一般曹候補生）1名、陸上自衛隊（自衛官候補生）1名、ヤマハ発動機1名、デンソー1名、スズキ2名、静岡ダイハツ販売1名、東洋製罐1名 他

5) 国際交流

派遣 / 受入	短期プログラム	長期プログラム
本校語学研修プログラム (3か月)	アメリカへ1名	
本校から私費留学	なし	アメリカへ1名 2018年9月～2019年7月
県教委主催海外体験促進事業 (語学研修)	なし	
受入れ留学生	2019年11月～2019年12月 オーストラリアから1名	2019年8月～2019年6月 デンマークから1名 2018年8月～現在 タイから1名 2019年8月～2020年3月 フィリピンから1名 2019年8月～2020年3月 フィンランドから1名 2020年2月～現在 イタリアから1名

6) 部活動の主な実績

部活動名	2019年度 主な実績
男子 バレーボール部	静岡県高等学校総合体育大会バレーボール競技 西部地区大会 優勝 静岡県高等学校総合体育大会バレーボール競技 県大会 優勝 第66回東海高等学校総合体育大会バレーボール競技 優勝 中部日本6人制バレーボール総合男女選手権大会(高校男子の部) 3位 全国高等学校総合体育大会 全国大会 決勝トーナメント ベスト16 静岡県西部高等学校バレーボール選手権大会 優勝 第72回全日本バレーボール高等学校選手権大会 静岡県予選大会 準優勝
	静岡県高等学校新人体育大会バレーボール競技西部地区大会 準優勝 静岡県高等学校新人体育大会バレーボール競技県大会 優勝 静岡県ビーチバレーボールジュニア選手権大会件国民体育大会静岡県予選会 優勝 全日本ビーチバレージュニア選手権大会決勝トーナメント 2回戦進出
男子 サッカー部	静岡県高等学校総合体育大会サッカー競技 西部地区大会 5位 静岡県高等学校総合体育大会サッカー競技 県大会 2回戦進出 第98回高校選手権静岡県大会 3回戦進出 静岡県高校サッカー新人大会 県大会出場 高円宮杯 JFA U-18 サッカーリーグ 2019 静岡大会 Bリーグ2位 Aリーグ昇格

野 球 部	<p>第 66 回春季東海地区高等学校野球静岡県西部地区大会 出場</p> <p>第 101 回全国高校野球選手権静岡大会 出場</p> <p>第 72 回秋季東海地区高等学校野球西部地区大会 5 位</p> <p>第 72 回秋季東海地区高等学校野球静岡県大会 ベスト 4</p> <p>第 3 回浜松市内高等学校野球大会 準優勝</p>
女子 ソフトボール部	<p>静岡県高等学校総合体育大会 西部地区大会 ベスト 4</p> <p>静岡県高等学校総合体育大会 県大会 ベスト 8</p> <p>静岡県高等学校女子ソフトボール新人大会西部地区予選 3 位</p> <p>静岡県高等学校女子ソフトボール新人大会 県大会 2 回戦進出</p>
少林寺拳法部	<p>第 67 回静岡県高等学校総合体育大会 少林寺拳法競技 男子女子共に総合優勝</p> <p>男子組演武 優勝、男子団体演武 優勝</p> <p>女子単独演武 2 位、女子組演武 優勝、女子団体演武 優勝</p> <p>第 13 回全国中学生少林寺拳法大会静岡県予選会 男子単独演武 1 位・2 位、男子組演武 優勝、男子団体演武 優勝</p> <p>女子単独演武 1 位・2 位・3 位、女子組演武 優勝、女子団体演武 優勝</p> <p>全国高等学校総合体育大会 少林寺拳法競技大会 女子組演武 4 位、男子団体演武 10 位</p> <p>第 13 回全国中学生少林寺拳法大会 男子組演武 決勝進出、女子単独演武 準決勝進出</p> <p>静岡県高等学校新人体育大会 少林寺拳法競技 女子総合優勝</p> <p>男子規定単独演武 優勝、男子規定組演武 優勝</p> <p>女子自由単独演武 優勝、女子規定組演武 優勝</p> <p>女子弁論の部 2 位</p>
吹奏楽部	<p>第 60 回静岡県吹奏楽コンクール西部地区大会 B 編成の部 金賞</p> <p>第 62 回中部日本吹奏楽コンクール静岡県大会 B 編成の部 高等学校小編成の部 銀賞</p> <p>第 60 回静岡県吹奏楽コンクール 高等学校 B 編成の部 銀賞</p> <p>第 53 回静岡県管打楽器アンサンブルコンテスト西部地区大会 木管 6 重奏 銀賞</p> <p>第 21 回中部日本個人重奏コンテスト静岡県大会 フルート独奏 金賞（本大会出場）</p> <p>クラリネット独奏 銀賞</p>
放 送 部	<p>第 66 回 NHK 杯高校放送コンテスト県大会 ラジオドキュメント部門『たたけ 響け とどけ』優勝（全国大会へ）</p> <p>テレビドキュメント部門『CODA として生きる』第 3 位（全国大会へ）</p> <p>創作ラジオドラマ部門『ぼっち飯ヒーロー論』第 3 位</p> <p>第 66 回 NHK 杯高校放送コンテスト テレビドキュメント部門（作品名：CODA として生きる）入選（511 作品中ベスト 15 位）</p> <p>第 40 回静岡県高等学校放送新人コンクール オーディオピクチャー部門『あなたの PAN です』準優勝</p> <p>第 4 回聖書動画コンテスト 2019 「3 ミニッツ部門」作品賞（ベスト 8 相当）</p> <p>第 16 回北信越高等学校選抜放送大会 オーディオピクチャー部門『あなたの PAN です』優秀校（1～2 位相当）</p>

かるた	第 31 回静岡県高等学校かるた選手権大会 II 部リーグ 優勝 第 31 回静岡県高等学校かるた新人大会 II 部リーグ 優勝 静岡県百人一首かるた競技チャレンジ大会 E 級 3 位 2 名 第 53 回全国競技かるた静岡大会 準優勝 1 名、E 級 3 位 2 名
書道	第 18 回岐阜女子大学全国書道展 特賞 2 名 日本書道専門学校主催第 41 回千字文大会 高校漢字半紙の部 特選 1 名 中学半紙の部 特選 1 名 第 38 回富士山学生書写書道展 審査委員長賞 2 名 第 61 回大東文化大学全国書道展 特賞 高校条幅の部 1 名 中学半紙の部 1 名 第 40 回ふれあい書道展 特選 半紙の部 1 名 条幅の部 2 名

聖隷クリストファー中学校

1) 生徒募集の推移

	入学定員	2020 年度入学者 (2019 年度募集)		2019 年度入学者 (2018 年度募集)		2018 年度入学者 (2017 年度募集)	
		志願者数	入学者数	志願者数	入学者数	志願者数	入学者数
中学校	70	38	22	74	53	60	47

2) 国際交流

派遣 / 受入	短期プログラム	長期プログラム
本校から私費留学	なし	なし
受入れ留学生	なし	なし

2. 2020 年度に向けての目標と展望

【1】中学校生徒募集の反省と 2020 年度の取り組み

2019 年度を通した中学生募集活動において、参加者数が低迷し、志願者数を伸ばすことができませんでした。近年 45～50 名を維持してきた入学者が 2020 年度、22 名と大幅に減少したことは痛恨の極みです。この原因がどこにあるのかを厳粛に省み、回復を期したいと思えます。

開学以来、一人一人の生徒の人格を重んじ、互いを尊重し合う集団の形成を目指し、基本的な生活習慣や学習態度を付けさせる訓練に力を入れて歩んできたと認識しています。また、「新しい学力」である探究力や自己発信力の習得をこれからの目標として掲げ、その基礎は人間関係を結ぶコミュニケーション能力の育成が第一と考え、ピアサポート研修に着手したところでもありました。突然見舞われたかにも思える、今回の生徒数の半減の原因・背景は何なのか。内側の緩みや油断、外側の変化を読み取れていなかった怠慢や独断がなかったか。入試広報部を中心に分析・検証をして、今年度の広報計画を策定します。

まずは「中学校は義務教育であり、転学者は出さない」という基本を確認し、全教員が初心に帰って取り組む所存です。広報活動においては、保護者に安心と信頼を得られるような情報発信へと内容を精査し、入試の方法を再検討し、広く志願者を集められる方策を練っていきます。

【2】生徒支援の充実

生徒支援委員会を設置して3年が経ちました。中・高校生を問わず、課題を抱えた生徒の情報共有の様式が整えられ、定期的な情報交換会も定着しました。スクールカウンセラーとの連携は、質量ともに充実し、2020年度からは相談日が増えます。加えて、本年は学習支援員を導入し、不登校や保健室登校、別室登校の生徒への学習サポートを中心に生徒を支援しつつ、教室に戻していく試みをスタートします。

学校である以上、常に迷ったり失敗したりする生徒はおり、生徒指導上の問題がなくなることはありません。しかしそんな時、生徒や保護者に対していかに教員集団が敏速に懇切丁寧に対応し、的確に判断し行動できるか。信頼される、安心・安全な学校生活を創出できるか。学校の生命線はそこにあると考えます。

【3】高校の展望

就学支援金制度の拡充が進み、高等学校が学費によってではなく、教育内容や学校の特色によって選ばれる時代がいよいよ到来しました。そのような環境下で本校は、進学実績のさらなる向上を目指していきます。

今春の52期生の入試結果：英数科は昨年比で生徒の基礎学力が低く苦戦が予想された中で、生徒・教員が最後まで粘ることができました。国公立大学への合格者は22名、うち現役21名、内進生14名、(前年度合格者33名、うち現役31名、内進生6名)、現役生の国公立大合格率は43%(前年50%)でした。私大については、難関大のみならず地方の中堅・下位校まで難化傾向の中、英数科成績上位層の難関大合格者は5名、下位層に対しても最後まで諦めない丁寧な個別指導により一定の進学結果をもたらしました。

一方、特進クラスでは、指定校推薦によって難関大学への進学を決めています。クリストファー大学への併設校推薦合格者は22名(うち2名は英数科)でした。部活動などに全力を注ぎ、充実した3年間を過ごした生徒が評価され、推薦で大学進学を勝ち得ていくことは喜ばしいことです。

その上で、今後本校が進学校としての評価を一層上げていくには、学校全体で基礎学力の定着を図り、探究力を磨き、「新しい学力、真の学力」を修得させることが必須です。新教育課程の策定＝学習指導要領の改定(中学は2021年度全面実施、高校は2022年度からの年次進行)を見据えて、50分授業導入と日課の再考、教務内規の見直し等が計画されています。

3. 最後に

2020年4月、茨城前校長の任期終了を機に、上村敏正中・高校長が就任しました。

新校長のリーダーシップの下、中・高校の教員集団が各々の世代や立場の役割を自覚し、建学の精神を具現化する教育集団の創生を目指す決意です。

聖隷クリストファー大学附属クリストファーこども園

◆ 年間行事

日付	内容
4月 1日(月)	保育開始
6日(土)	入園式(59名入園)
8日(月)	1学期始園日
16日(火)	ホンダ訪問サッカースクール(5歳児)
17日(水)	理事長講話、イースター礼拝・誕生会
20日(土)	こども園保護者会総会、講演会、クラス懇談会
23日(火)	園外保育(5歳児) 里山体験
24日(水)	
25日(木)	視力検査(4歳児)
26日(金)	
5月 8日(水)	母の日礼拝・誕生会
14日(火)	園外保育(5歳児) 里山体験
15日(水)	
16日(木)	健康診断
18日(土)	入園説明会(次年度入園希望3歳児対象)
23日(木)	園外保育(4歳児) フラワーパーク 視力検査(5歳児)
24日(金)	
30日(木)	園外保育 ジョン・カミツカ氏 コンサート(5歳児)
6月 4日(火)	オープン保育デー(5歳児)
5日(水)	
6日(木)	オープン保育デー(4歳児)
7日(金)	
12日(水)	花の日礼拝・誕生会
13日(木)	花の日施設訪問
18日(火)	プール開き
20日(木)	歯科検診
25日(火)	園外保育(5歳児) 親子里山体験、 オープン保育デー(3歳児)
26日(水)	
27日(木)	オープン保育デー(3歳児)
28日(金)	園庭プロジェクト
7月 3日(水)	月礼拝・誕生会
6日(土)	サマーフェスタ
9日(火)	園外保育(5歳児) 里山体験
10日(水)	
12日(金)	1学期終園日
19日(金)	5歳児お泊り保育(かわな野外活動センター)
20日(土)	
8月 1日(木)	小学1年生 同窓会
28日(水)	2学期始園日
9月 2日(月)	防災引渡訓練
3日(火)	園外保育(5歳児) 里山体験
4日(水)	
6日(金)	プール納め
11日(水)	月礼拝・誕生会
13日(金)	聖隷クリストファー中・高等学校体育大会へ参加(5歳児)
26日(木)	はごろも『夢』講演会「お相撲さんと一緒に遊ぼう」
10月 5日(土)	プレイデー(運動会、3・4・5歳児) 於: 中高ソフトボール場
8日(火)	園外保育(5歳児) 里山体験
9日(水)	

日付	内容
10月 14日(月)	園庭プロジェクト
16日(水)	月礼拝・誕生会
17日(木)	健康診断
18日(金)	食育講座「魚さばき」
23日(水)	園外保育(3-5歳児) 浜松市動物園
26日(土)	プレイデー(運動会、0.1.2歳児) 於:園庭
28日(月)	プレイデー(運動会、満3歳児) 於:園庭
29日(火)	園外保育(5歳児) 里山体験
30日(水)	
11月 6日(水)	収穫感謝礼拝・誕生会
7日(木)	収穫感謝訪問(浜名湖エデン園、アドナイ館他訪問) アジア学院との交流(5歳児)
8日(金)	収穫感謝訪問、野外パーティー
9日(土)	幼児祝福式(3.5歳児希望者) 於:遠州栄光教会
16日(土)	入園・進級オリエンテーション(次年度3歳入園・進級者対象)
20日(水)	自然体験企画「うどん作り」
12月 2日(月)	保護者会クリスマス
7日(土)	クリスマスのつどい(0・1・2・3歳児)
12日(木)	学園クリスマスツリー点火祭(5歳児)
14日(土)	クリスマスのつどい(4・5歳児)
18日(水)	2学期終園日
20日(金)	大掃除
1月 9日(木)	3学期始園日
10日(金)	自然体験企画「もちつき」(2・3・4歳児)
14日(火)	園外保育(5歳児) 親子里山体験
15日(水)	月礼拝・誕生会
16日(木)	体力測定(5歳児)[主催:大学看護・社会福祉学部]
17日(金)	園外保育(5歳児) 親子里山体験
18日(土)	親子運動遊び(きのいい羊)、 どうぶつしょうぎ[保護者会主催]
21日(火)	オープン保育デー(4歳児)
22日(水)	
28日(火)	オープン保育デー(3歳児)
29日(水)	
30日(木)	
2月 3日(月)	節分パーティー
5日(水)	オープン保育デー(5歳児)
6日(木)	
10日(月)	人形劇(むすび座)[保護者会主催]
14日(金)	自然体験企画「ポップコーン・こんにゃく作り」(3歳児)
19日(水)	月礼拝・誕生会
20日(木)	交通安全教室(4・5歳児)
21日(金)	気賀小学校1年生との交流会(5歳児)
25日(火)	園外保育(5歳児) 里山体験
26日(水)	
29日(土)	きりん組のつどい(4歳児)
3月 3日(火)	ひなまつりパーティー
4日(水)	月礼拝・誕生会
14日(土)	卒園式(60名卒園)
17日(火)	3学期終園日
25日(水)	お散歩遠足(5歳児)

(3) 施設等の状況 (2020年3月31日現在)

① 現有施設の状況

土地

所在地	面積等	取得価額	摘要
静岡県浜松市北区三方原町 3453	41,813 m ²	434,456 千円	聖隷クリストファー大学キャンパス
	70,603 m ²	2,142,833 千円	聖隷クリストファー中高キャンパス
	501 m ²	57,133 千円	聖隷クリストファー小学校
静岡県浜松市北区三方原町 2762	4,290 m ²	70,945 千円	クリストファーこども園(園舎・園庭)
合計	117,207 m ²	2,705,367 千円	

校舎等

所在地	施設等(建物名称)	面積等	取得価額	帳簿価額
静岡県浜松市北区 三方原町 3453	聖隷クリストファー大学(1号館)	9,068 m ²	2,329,866 千円	947,800 千円
	〃 (2号館)	4,026 m ²	719,548 千円	390,021 千円
	〃 (3号館)	4,727 m ²	888,454 千円	481,793 千円
	〃 (4号館)	1,199 m ²	194,260 千円	56,280 千円
	〃 (旧5号館旧棟)	2,623 m ²	305,909 千円	76,885 千円
	〃 (5号館)	5,134 m ²	948,666 千円	765,057 千円
	〃 (機械室)	11 m ²	1,124 千円	367 千円
	〃 (学生・同窓会館)	964 m ²	155,433 千円	49,271 千円
	〃 (キリスト教センター)	78 m ²	19,749 千円	7,711 千円
	〃 (第一体育館)	781 m ²	237,883 千円	116,992 千円
	〃 (第二体育館)	495 m ²	46,702 千円	17,229 千円
	〃 (第一テニスクラブハウス)	35 m ²	10,754 千円	1,512 千円
聖隷クリストファー大学 合計		29,141 m ²	5,858,346 千円	2,910,918 千円
静岡県浜松市北区 三方原町 3453	専門学校棟	574 m ²	160,760 千円	105,417 千円
聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校 合計		574 m ²	160,760 千円	105,417 千円
静岡県浜松市北区 三方原町 3453	聖隷クリストファー中・高等学校(校舎)	9,332 m ²	1,618,175 千円	973,291 千円
	〃 (体育館)	4,369 m ²	766,900 千円	460,635 千円
	〃 (総合運動場クラブハウス)	176 m ²	34,011 千円	16,526 千円
	〃 (第二テニスクラブハウス)	106 m ²	17,379 千円	9,887 千円
	〃 (サッカー場クラブハウス)	193 m ²	36,003 千円	13,259 千円
	〃 (野球部部室)	62 m ²	20,855 千円	9,824 千円
	〃 (ガス整圧室、ポンプ室)	15 m ²	29,800 千円	9,682 千円
〃 (ソフトホール場倉庫)	65 m ²	1,614 千円	422 千円	
聖隷クリストファー中・高等学校 合計		14,318 m ²	2,524,736 千円	1,493,526 千円
静岡県浜松市北区 三方原町 3453	小学校校舎	3,463 m ²	1,006,676 千円	1,001,580 千円
聖隷クリストファー小学校 合計		3,463 m ²	1,006,676 千円	1,001,580 千円
静岡県浜松市北区 三方原町 2762	クリストファーこども園園舎	2,139 m ²	502,115 千円	370,853 千円
聖隷クリストファー大学附属クリストファーこども園 合計		2,139 m ²	502,115 千円	370,853 千円
総合計		49,635 m ²	10,052,633 千円	5,882,294 千円

② 主な施設設備の取得又は処分計画及びその進捗状況

小学校校舎建設

構造	床面積		新築年月日
鉄筋コンクリート造陸屋根 4階建	1階	649.81 m ²	令和1年12月11日
	2階	934.23 m ²	
	3階	939.34 m ²	
	4階	939.34 m ²	

3 財務の概要

(1) 決算の概要

①貸借対照表関係

ア) 貸借対照表の状況と経年比較

貸借対照表は資産（土地や建物など）が何によってどのようなバランスで賄われているかを表し、財務の健全性を示したものです。

資産は、固定資産が対前年度比 11 億 4,275 万円増の 102 億 526 万円となり、流動資産は対前年度比 11 億 4,312 万円減の 42 億 6,062 万円となり、総資産額は対前年度比 37 万円減の 144 億 6,588 万円となりました。これらの主な要因は、小学校校舎建築費用（固定資産分）11 億 5,737 万円を自己資金で賄ったことによるものです。

負債は、負債の部合計が前年度比 19 億 3,019 万円減の 40 億 6,450 万円となりました。主な要因は借入金の返済進行によるものです。

校舎建設、土地購入などによる借入金のための負債の割合が高いですが、総資産の 71.9% は自己資金で賄われていることにより、財務の安定性は十分な余力があることがわかります。

また、借入金は現状のキャッシュフローにおいて最短約 4 年半での全額返済が可能であり、十分な返済能力を備えていると認識しております。

(単位: 百万円)

資産の部合計	14,466	負債の部合計	4,065
(主な内容)	(現金預金 4,132) (土地 2,705) (建物 5,882)	(主な内容)	
		(借入金 1,803)	
		(前受金 1,486)	
		自己資金	10,401

【有利子負債返済可能年数】

$$\frac{\text{借入金 } 1,803 \text{ 百万円}}{\text{学校運営にかかる } 403 \text{ 百万円}} = 4.50 \text{ 年}$$

◎経年比較

(単位: 千円)

	2015年度末	2016年度末	2017年度末	2018年度末	2019年度末
固定資産	9,417,957	9,408,802	9,214,009	9,062,505	10,205,261
流動資産	4,432,591	4,712,562	5,021,384	5,403,749	4,260,622
資産の部合計	13,850,549	14,121,365	14,235,394	14,466,254	14,465,883
固定負債	2,528,692	2,524,867	2,400,461	2,268,417	2,134,312
流動負債	1,949,559	1,931,381	1,879,035	1,989,263	1,930,195
負債の部合計	4,478,252	4,456,249	4,279,496	4,257,680	4,064,507
基本金	13,205,058	13,567,384	13,829,920	14,097,544	15,488,669
繰越収支差額	△ 3,832,761	△ 3,902,268	△ 3,874,022	△ 3,888,970	△ 5,087,293
純資産の部合計	9,372,297	9,665,116	9,955,898	10,208,574	10,401,376
負債及び純資産の部合計	13,850,549	14,121,365	14,235,394	14,466,254	14,465,883

イ) 財務比率の経年比較

区 分			評 価	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	全国平均 2018年度	
貸借対照表関係比率	1	固定資産 構成比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}}$	▼	68.0%	66.6%	64.7%	62.6%	70.5%	86.8%
	2	流動資産 構成比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{総資産}}$	△	32.0%	33.4%	35.3%	37.4%	29.5%	13.2%
	3	固定負債 構成比率	$\frac{\text{固定負債}}{\text{総負債+純資産}}$	▼	18.3%	17.9%	16.9%	15.7%	14.8%	6.8%
	4	流動負債 構成比率	$\frac{\text{流動負債}}{\text{総負債+純資産}}$	▼	14.1%	13.7%	13.2%	13.8%	13.3%	5.4%
	5	運用資産 余裕比率	$\frac{\text{運用資産}-\text{外部負債}}{\text{経常支出}}$	△	0.55年	0.66年	0.80年	0.88年	0.59年	1.93年
	6	流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	△	227.4%	244.0%	267.2%	271.6%	220.7%	246.6%
	7	総負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{総資産}}$	▼	32.3%	31.6%	30.1%	29.4%	28.1%	12.2%
	9	基本金比率	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	△	84.9%	85.4%	86.6%	87.7%	89.2%	97.3%
	10	前受金保有率	$\frac{\text{現金預金}}{\text{前受金}}$	△	286.0%	300.0%	324.9%	338.2%	278.0%	348.7%
	11	積立率	$\frac{\text{運用資産}}{\text{要積立額}}$	△	68.0%	69.1%	70.1%	72.2%	54.9%	79.3%

(評価)△:高いほうがよい ▼:低いほうがよい -:どちらともいえない

※全国平均:2018(H30)年度大学法人平均(医歯系法人を除く)「日本私立学校振興・共済事業団」より

②資金収支計算書関係

ア) 資金収支計算書の状況と経年比較

(単位:千円)

収入の部	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
学生生徒等納付金収入	2,602,778	2,628,743	2,626,446	2,622,592	2,612,964
手数料収入	57,250	57,895	58,454	58,904	60,231
寄付金収入	49,814	52,527	65,655	53,901	79,218
補助金収入	737,951	814,366	823,391	797,235	785,248
資産売却収入	540	0	300	249	20
付随事業・収益事業収入	18,597	11,367	12,137	15,441	17,490
受取利息・配当金収入	1,633	1,355	1,394	1,799	1,134
雑収入	139,129	66,208	94,593	137,017	93,144
借入金等収入	0	170,000	0	0	0
前受金収入	1,513,973	1,541,909	1,516,781	1,554,589	1,486,143
その他の収入	150,638	91,896	69,048	84,557	130,945
資金収入調整勘定	△ 1,593,851	△ 1,571,491	△ 1,604,298	△ 1,632,786	△ 1,655,451
前年度繰越支払資金	4,048,149	4,329,499	4,625,701	4,928,382	5,257,116
収入の部合計	7,726,605	8,194,277	8,289,605	8,621,883	8,868,202

支出の部	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
人件費支出	2,260,817	2,230,470	2,266,937	2,345,026	2,335,462
教育研究経費支出	478,404	485,915	503,686	491,602	519,578
管理経費支出	238,581	245,799	234,374	257,188	295,989
借入金等利息支出	32,540	34,414	32,329	29,949	27,685
借入金等返済支出	144,860	154,340	154,860	151,660	151,660
施設関係支出	152,896	251,823	45,996	68,444	1,150,657
設備関係支出	71,846	75,800	57,002	73,571	152,881
資産運用支出	0	0	18,375	250	94,222
その他の支出	225,535	212,531	155,629	130,132	200,845
資金支出調整勘定	△ 208,375	△ 122,519	△ 107,967	△ 183,055	△ 192,811
次年度繰越支払資金	4,329,499	4,625,701	4,928,382	5,257,116	4,132,034
支出の部合計	7,726,605	8,194,277	8,289,605	8,621,883	8,868,202

イ) 活動区分資金収支計算書の状況と経年比較

「資金収支計算書」は学校法人の資金の出入りを表す財務諸表で、一般企業のキャッシュフロー計算書に類するものです。2015年度から学校法人会計基準の改正に伴い、新たに活動区分ごとの資金の流れがわかる「活動区分資金収支計算書」の作成が義務付けられました。下記は活動区分ごとの示した表となっております。

2019年度は教育研究活動により発生した資金は4億289万円でした。施設・設備投資には小学校校舎建設費を含め13億353万円を充当しました。

これら法人全体の事業活動により、前年度より資金が約11億2,508万円減少しました。小学校開設に係る費用は中長期財務計画の想定内であります。

(単位:千円)

科 目	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
教育活動による資金収支					
教育活動資金収入計	3,604,615	3,628,029	3,679,356	3,684,876	3,641,524
教育活動資金支出計	2,976,578	2,961,075	3,004,328	3,093,816	3,151,029
差引	628,037	666,954	675,028	591,060	490,495
調整勘定等	7,783	34,736	△ 46,207	55,688	△ 87,598
教育活動資金収支差額	635,820	701,690	628,821	646,748	402,897
施設設備等活動による資金収支					
施設整備等活動資金収入計	1,448	3,079	805	465	6,791
施設整備等活動資金支出計	224,743	327,624	102,999	142,015	1,303,537
差引	△ 223,295	△ 324,545	△ 102,194	△ 141,550	△ 1,296,746
調整勘定等	42,056	△ 61,199	△ 17,423	△ 11,101	38,550
施設整備等活動資金収支差額	△ 181,239	△ 385,744	△ 119,617	△ 152,651	△ 1,258,196
小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)	454,581	315,946	509,204	494,097	△ 855,299
その他の活動による資金収支					
その他の活動資金収入計	18,595	183,796	13,733	23,971	16,076
その他の活動資金支出計	192,683	203,838	218,742	191,620	286,851
差引	△ 174,088	△ 20,042	△ 205,009	△ 167,649	△ 270,775
調整勘定等	857	298	△ 1,514	2,286	992
その他の活動資金収支差額	△ 173,231	△ 19,744	△ 206,523	△ 165,363	△ 269,783
支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)	281,350	296,202	302,681	328,734	△ 1,125,082
前年度繰越支払資金	4,048,149	4,329,499	4,625,701	4,928,382	5,257,116
翌年度繰越支払資金	4,329,499	4,625,701	4,928,382	5,257,116	4,132,034

ウ) 財務比率の経年比較

・教育活動資金収支差額比率

区 分	評価	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	全国平均 2018年度
教育活動資金 収支差額比率	△	17.6%	19.3%	17.1%	17.6%	11.1%	14.6%

(評価)△:高いほうがよい ▼:低いほうがよい -:どちらともいえない

※全国平均:2018(H30)年度大学法人平均(医歯系法人を除く)「日本私立学校振興・共済事業団」より

③事業活動収支計算書関係

ア) 事業活動収支計算書の状況と経年比較

事業活動収支計算書は学校運営の収入と支出の内容を表したもので、一般企業の損益計算書に類するものです。

事業活動収支差額は1億9,280万円のプラスとなりました。この収支差額は2019年度第一次補正額よりも1億4,782万円改善しています。

《各部門別》

(単位:千円)

科目		法人	大学	高校	中学	こども園	専門	合計
事業活動収入	学生生徒等納付金	0	2,135,104	336,863	68,231	33,021	39,915	2,613,134
	手数料(入学検定料含む)	1,545	41,675	15,954	585	0	472	60,231
	寄付金	5,000	28,658	38,586	6,757	0	0	79,001
	補助金	0	199,481	317,090	54,080	205,711	2,331	778,693
	付随事業・雑収入等	802	86,980	4,725	375	17,408	343	110,634
	教育活動外収入(受取利息等)	0	775	226	41	78	13	1,134
	特別収入(施設設備、現物寄付金等)	0	5,983	6,180	1,611	0	0	13,773
合計	7,347	2,498,657	719,623	131,680	256,218	43,075	3,656,600	
事業活動支出	人件費	103,581	1,523,475	421,784	98,066	164,597	26,579	2,338,082
	教育研究経費	5,973	502,679	147,664	21,461	58,258	14,226	750,261
	(うち減価償却額)	5,973	137,161	52,911	4,357	24,609	5,673	230,683
	管理経費	87,696	132,364	75,090	18,059	7,217	3,611	324,037
	(うち減価償却額)	12,327	3,379	50	2	511	48	16,317
	徴収不能額等	0	0	170	0	0	0	170
	教育活動外支出(借入金利息等)	0	7,996	19,689	0	0	0	27,685
特別支出(資産処分差額等)	1,370	21,641	500	54	0	0	23,564	
合計	198,620	2,188,155	664,896	137,640	230,072	44,416	3,463,799	
経常収支差額	△ 189,903	326,160	49,047	△ 7,517	26,146	△ 1,341	202,592	
事業活動収支差額	△ 191,273	310,502	54,727	△ 5,960	26,146	△ 1,341	192,801	

◎経年比較

(単位:千円)

科目	年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
教育活動収支	事業活動収入の部					
	学生生徒等納付金	2,602,778	2,629,443	2,626,576	2,622,867	2,613,134
	手数料	57,250	57,896	58,454	58,904	60,231
	寄付金	48,907	52,311	65,440	54,582	79,001
	経常費等補助金	737,952	811,503	823,102	797,235	778,693
	付随事業収入	18,598	11,367	12,137	15,441	17,490
	雑収入	139,136	66,209	93,783	137,018	93,144
	教育活動収入計	3,604,621	3,628,729	3,679,492	3,686,047	3,641,693
	事業活動支出の部					
	人件費	2,264,545	2,218,779	2,284,761	2,347,868	2,338,082
	教育研究経費	781,828	795,156	796,336	759,069	750,261
	管理経費	266,724	273,810	263,574	287,131	324,037
	徴収不能額等	0	788	129	275	170
	教育活動支出計	3,313,097	3,288,533	3,344,800	3,394,343	3,412,550
教育活動収支差額	291,524	340,196	334,692	291,704	229,143	

(単位:千円)

科目		年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
教育活動外収支	事業活動収入の部						
		受取利息・配当金	1,633	1,355	1,394	1,799	1,134
		その他の教育活動外収入	0	0		0	0
		教育活動外収入計	1,633	1,355	1,394	1,799	1,134
	事業活動支出の部						
		借入金等利息	32,540	34,414	32,330	29,949	27,685
		その他の教育活動外支出	0	0	0	0	0
		教育活動外支出計	32,540	34,414	32,330	29,949	27,685
	教育活動外収支差額	△ 30,907	△ 33,059	△ 30,936	△ 28,150	△ 26,551	
経常収支差額			260,617	307,137	303,756	263,554	202,592
特別収支	事業活動収入の部						
		資産売却差額	540	0	300	249	20
		その他の特別収入	9,582	12,043	9,377	12,660	13,753
		特別収入計	10,122	12,043	9,677	12,909	13,773
	事業活動支出の部						
		資産処分差額	6,278	3,704	434	2,240	2,017
		その他の特別支出	22,771	22,657	22,217	21,547	21,547
		特別支出計	29,049	26,361	22,651	23,787	23,564
	特別収支差額	△ 18,927	△ 14,318	△ 12,974	△ 10,878	△ 9,791	
基本金組入前当年度収支差額			241,690	292,819	290,782	252,676	192,801
基本金組入額合計			△ 305,170	△ 363,100	△ 264,755	△ 267,623	△ 1,391,124
当年度収支差額			△ 63,480	△ 70,281	26,027	△ 14,947	△ 1,198,323
前年度繰越収支差額			△ 3,769,281	△ 3,832,761	△ 3,902,269	△ 3,874,023	△ 3,888,970
基本金取崩額			0	773	2,219	0	0
翌年度繰越収支差額			△ 3,832,761	△ 3,902,269	△ 3,874,023	△ 3,888,970	△ 5,087,293

(参考)

事業活動収入計	3,616,376	3,642,127	3,690,563	3,700,755	3,656,600
事業活動支出計	3,374,686	3,349,308	3,399,781	3,448,079	3,463,799

イ) 財務比率の経年比較

区 分		評価	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	全国平均 2018年度	
事業活動収支計算書関係比率	1 人件費比率	人件費 経常収入	▼	62.8%	61.1%	62.1%	63.7%	64.2%	53.0%
	2 人件費依存率	人件費 学生生徒等納付金	▼	87.0%	84.4%	87.0%	89.5%	89.5%	70.9%
	3 教育研究経費比率	教育研究経費 経常収入	△	21.7%	21.9%	21.6%	20.6%	20.6%	33.4%
	4 管理経費比率	管理経費 経常収入	▼	7.4%	7.5%	7.2%	7.8%	8.9%	8.8%
	5 借入金等利息比率	借入金等利息 経常収入	▼	0.9%	0.9%	0.9%	0.8%	0.8%	0.2%
	6 事業活動収支差額比率	基本金組入前当年度 収支差額 事業活動収入	△	6.7%	8.0%	7.9%	6.8%	5.3%	4.6%
	7 基本金組入後収支比率	事業活動支出 事業活動収入-基本金組入額	▼	101.9%	102.1%	99.2%	100.4%	152.9%	107.0%
	8 学生生徒等納付金比率	学生生徒等納付金 経常収入	-	72.2%	72.4%	71.4%	71.1%	71.7%	74.8%
	9 寄付金比率	寄付金 事業活動収入	△	1.6%	1.7%	2.0%	1.5%	2.2%	2.1%
	10 補助金比率	補助金 事業活動収入	△	20.4%	22.4%	22.3%	21.5%	21.5%	12.6%
	11 基本金組入率	基本金組入額 事業活動収入	△	68.4%	10.0%	7.2%	7.2%	38.0%	10.8%
	12 減価償却額比率	減価償却額 経常支出	-	9.7%	9.8%	9.2%	8.3%	7.2%	11.8%
	13 経常収支差額比率	経常収支差額 経常収入	△	7.2%	8.5%	8.3%	7.1%	5.6%	4.5%
	14 教育活動収支差額比率	教育活動収支差額 教育活動収入計	△	8.1%	9.4%	9.1%	7.9%	6.3%	3.0%

(評価)△:高いほうがよい ▼:低いほうがよい -:どちらともいえない

※全国平均:2018(H30)年度大学法人平均(医歯系法人を除く)「日本私立学校振興・共済事業団」より

(2) その他

① 有価証券の状況

所有しておりません

② 借入金の状況

(単位:円)

借入先	期末残高	摘要
		使 途
日本私立学校振興・共済事業団	757,560,000	大学5号館建築、運動場用地 労作用地、セミナーハウス棟建築
遠州信用金庫中川支店	296,400,000	高校校舎用地購入、運動場整備 校舎建築、大学2号館建築
りそな銀行浜松支店	113,580,000	高校校舎建築、大学2号館建築
浜松磐田信用金庫三方原支店	341,950,000	高校校舎用地購入、運動場整備 校舎建築、大学2号館建築
静岡銀行浜松営業部	293,700,000	大学2号館建築、高校校舎建築 大学3号館建築
合 計	1,803,190,000	

③ 学校債の状況

発行しておりません

④ 寄付金の状況

(単位:円)

区分	氏 名	金 額	用途・品目等
一般寄付金	聖隷クリスファー中・高等学校PTA様	1,713,053	
	聖隷クリスファー中・高等学校後援会様	2,833,400	
	聖隷クリスファー中・高等学校学年会計	265,984	
	合 計	4,812,437	
特別寄付金	個人 他(47名)	15,479,328	奨学資金、小学校設置準備資金、部活動支援 他
	聖隷クリスファー大学同窓会様	508,000	図書購入資金 他
	聖隷クリスファー大学後援会様	18,250,531	スクールバス補助、学生食堂光熱水費 他
	聖隷クリスファー中・高等学校後援会様	39,714,545	スクールバス補助
	聖隷クリスファー中・高等学校PTA様	452,981	学生用コピー用紙補助、カフェテリア経費
	合 計	74,405,385	
現物寄付金	個人(25名)	5,786,970	科研費補助金購入備品 他
	聖隷クリスファー高等学校2019年度卒業生様	1,195,000	49型4K液晶テレビ
	合 計	6,981,970	

寄付金合計 86,199,792

⑤ 補助金の状況

(単位:円)

補助金名称	交付団体	施設	決定金額
私立大学等経常費補助金	日本私立学校振興・共済事業団	大学	192,639,000
私立学校施設整備費補助金	文部科学省	大学	6,474,000
令和元年度私立大学等研究整備費等補助金 (ICT教育設備整備推進事業費)	文部科学省	高校	4,944,000
		中学	1,611,000
理科教育設備整備費等補助金	文部科学省	中学	139,000
私立学校経常費補助金	静岡県	高校	296,599,000
		中学	53,241,000
私立専修学校運営費補助金	静岡県	専門学校	2,307,000
静岡県私立高等学校授業料減免事業費補助金	静岡県	高校	18,296,935
高等学校等就学支援金事務費補助金	静岡県	高校	382,000
私立学校スクールカウンセラー配置等事業費補助金	静岡県	高校	504,600
		中学	95,400
結核健康診断費補助金	浜松市	大学	367,848
		高校	264,888
		専門学校	24,336
私立学校教育振興事業費補助金	浜松市	高校	1,043,000
		中学	604,000
施設型給付費	浜松市	こども園	175,877,816
私立保育所等入所児童処遇向上費補助金	浜松市	こども園	11,507,000
私立保育所等事業費補助金	浜松市	こども園	14,648,000
浜松市在園児下の子の優先利用支援事業費補助金	浜松市	こども園	2,406,000
浜松市幼稚園型一時預かり事業費補助金	浜松市	こども園	1,272,200
合計			785,248,023

⑥ 収益事業の状況

本法人は、私立学校法に基づき収益事業を本年度から開始いたしました。当該収益事業は、学校法人会計から区分し、一般に公正妥当と認められる企業会計の原則により経費処理することとされており、本法人では、令和元年12月に、中・高等学校に隣接するマンションを購入し、貸家業として、家賃収入を得ています。

収益事業会計
損益計算書（マンションM）
令和元年12月24日から
令和2年3月31日まで

（単位：円）

科目	金額
1. 営業損益	
(1) 営業収益	3,242,430
(2) 営業費用	2,231,265
営業利益	1,011,165
2. 営業外損益	
(1) 営業外収入	1,015
(2) 営業外費用	94,196
経常利益	917,984
学校会計繰入前利益	917,984
学校会計繰入支出	0
税引き前当期純利益	917,984
法人税、住民税及び事業税	
当期純利益	917,984
前期繰越利益	0
繰越利益剰余金	917,984

収益事業会計
貸借対照表（マンションM）

令和2年3月31日現在

（単位：円）

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	4,653,320	流動負債	8,499,162
現金預金	4,567,131	未払金	76,362
未収入金	500	短期借入金	4,992,000
前払費用	85,689	預り金	2,338,000
		前受金	1,092,800
固定資産	142,746,004	固定負債	43,760,000
有形固定資産		長期借入金	43,760,000
建物	88,265,730	負債の部合計	52,259,162
建物減価償却引当金	-912,079		
土地	55,392,353	純資産の部	
		元入金	94,222,178
		利益剰余金	
		その他の利益剰余金	917,984
		繰越剰余金	917,984
		純資産合計	95,140,162
資産の部合計	147,399,324	負債・純資産の部合計	147,399,324

⑦ 関連当事者等との取引の状況

(単位:円)

属性	役員、法人等の名称	住所	資本金又は出資金	事業内容又は職業	議決権の所有割合	関係の内容		取引の内容	取引金額	勘定科目	期末残高
						役員兼任等	事業上の関係				
理事長	長谷川 了	—	—	—	—	—	—	当法人の借入に対する債務被保証 (注1)	705,940,000	—	—
理事	山本 敏博	—	—	社会福祉法人 聖隷福祉 事業団 理事長	—	—	設備の賃借	実習控室借用料(注2)	3,918,000	教育研究経費	—
						—	健康診断委託	学生生徒検診委託料(注2)	3,769,500	教育研究経費	—
						—	実習受入	実習受入謝礼(注2)	4,738,500	教育研究経費	—

取引条件及び取引条件の決定方針等

※取引金額は消費税込み

(注1)当法人は、金融機関等からの借入に対して、理事長 長谷川了より債務保証を受けており、取引金額は令和2年3月末残高である。なお、保証料の支払いは行っていない。

(注2)理事 山本敏博が、第三者(社会福祉法人 聖隷福祉事業団)の代表者として行っている取引である。取引条件は双方協議の上、契約等に基づき決定している。

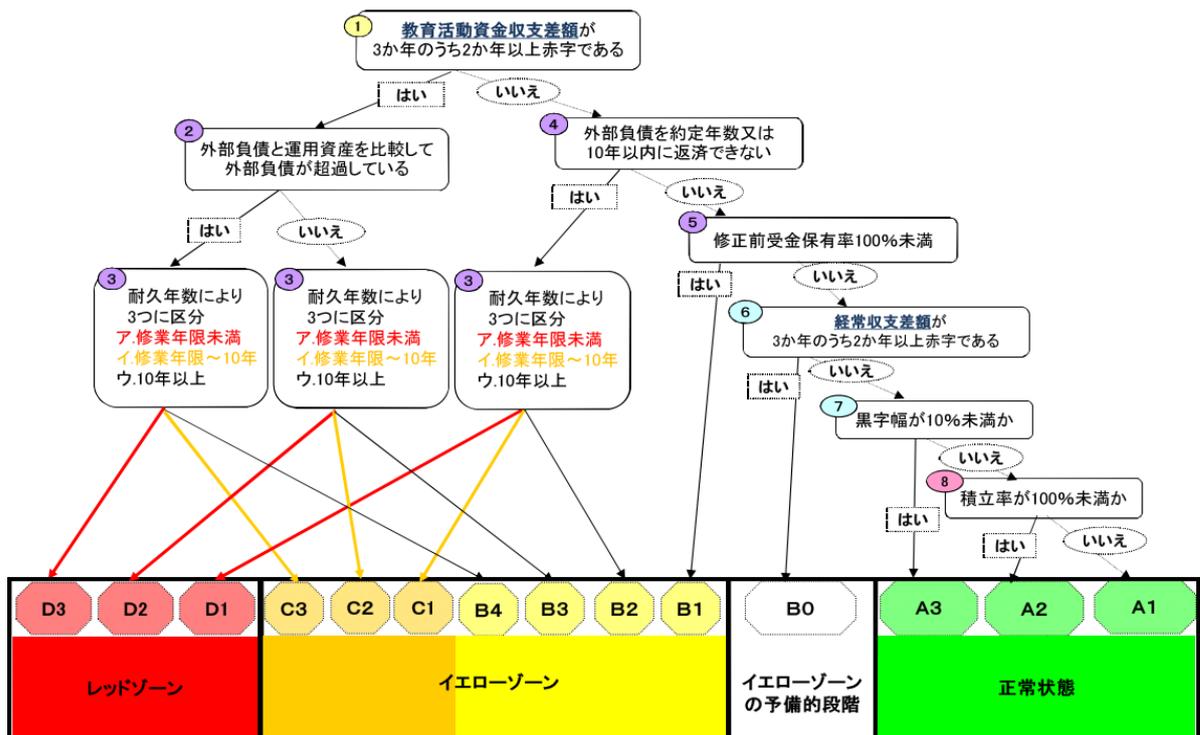
⑧ 学校法人間財務取引

該当なし

(3) 経営状況の分析、経営上の成果と課題、今後の方針・対応方策

① 経営判断指標に基づく学校法人経営状態の区分から

日本私立学校振興・共済事業団では、私立学校への適切な指導を行うために、学校法人の経営状態を定量的な指標により 14 通りに分類しています。この指標に基づき自己診断したところ、本学園は経常収支差額比率 5.6%で、A3 ランクに分類され、財務状況は正常な状態にあります。



学生・生徒・園児数は2,712名と前年度から17名減少し、定員充足率は学園全体で92.2%（対前年度比0.6ポイント減）となりました。

事業活動収入は105,736千円増加しています。一方、支出で大きな割合を占める人件費は31,476千円増加（退職給与引当金を除く）し、人件費比率は64.2%（同0.5ポイント増）と上昇しています。

施設・設備の整備については、2020年度小学校開設準備費用として、校舎建築、備品購入等で1,179,155千円、その他、大学エアコン改修、駐車場拡張工事、中高フットサルコート改修工事など215,343千円執行し、教育環境の充実を行いました。

こうした状況のもとで、2019年度の事業活動収支差額比率は、法人全体で5.3%（対前年度比1.5ポイント減）となりました。

法人全体における教育活動のキャッシュフローは402,897千円（2018年度646,747千円）のプラスになります。施設整備等活動のキャッシュフローは△1,258,196千円、その他活動のキャッシュフローは△269,782千円と何れもマイナスですが、これは前述の施設・設備の整備および借入金返済等によるものです。次年度繰越支払資金は1,125,082千円減少しましたが、中長期財務計画の想定内であり、当初予算より210,056千円好転しています。

今後、教育研究保育環境の充実・整備を図りつつ、中長期経営計画実現に向け財源を継続して確保する必要があります。事業の継続ならびに新規構想の推進には財政基盤の強化が必要であり、自主財源の確保は、入学入園者見込数を確実に確保していくこと、支出については、その60%以上を占める人件費政策を行うことが必須となります。

②各学校別財務比率から

＜学校法人全体の主要財務指標の内容＞

ここでは主に下記の指標を用いて2019年度決算における経営状況および改善傾向を把握することができます。

① 収容定員充足率 = 学生現員 ÷ 収容定員

定員に対する学生数の割合を示したものです。100%であることが理想です。

② 経常収支差額比率 = 経常収支差額 ÷ 経常収入

③ 流動比率 = 流動資産 ÷ 流動負債

短期的な資金繰りの余裕度合いを表したもので、150～200%が理想的です。

④ 運用資産余裕比率 = (運用資産*1 - 外部負債*2) ÷ 経常支出 …法人全体のみ

*1 運用資産=現預金+特定預金 *2 外部負債=総負債-退職給与引当金-前受金

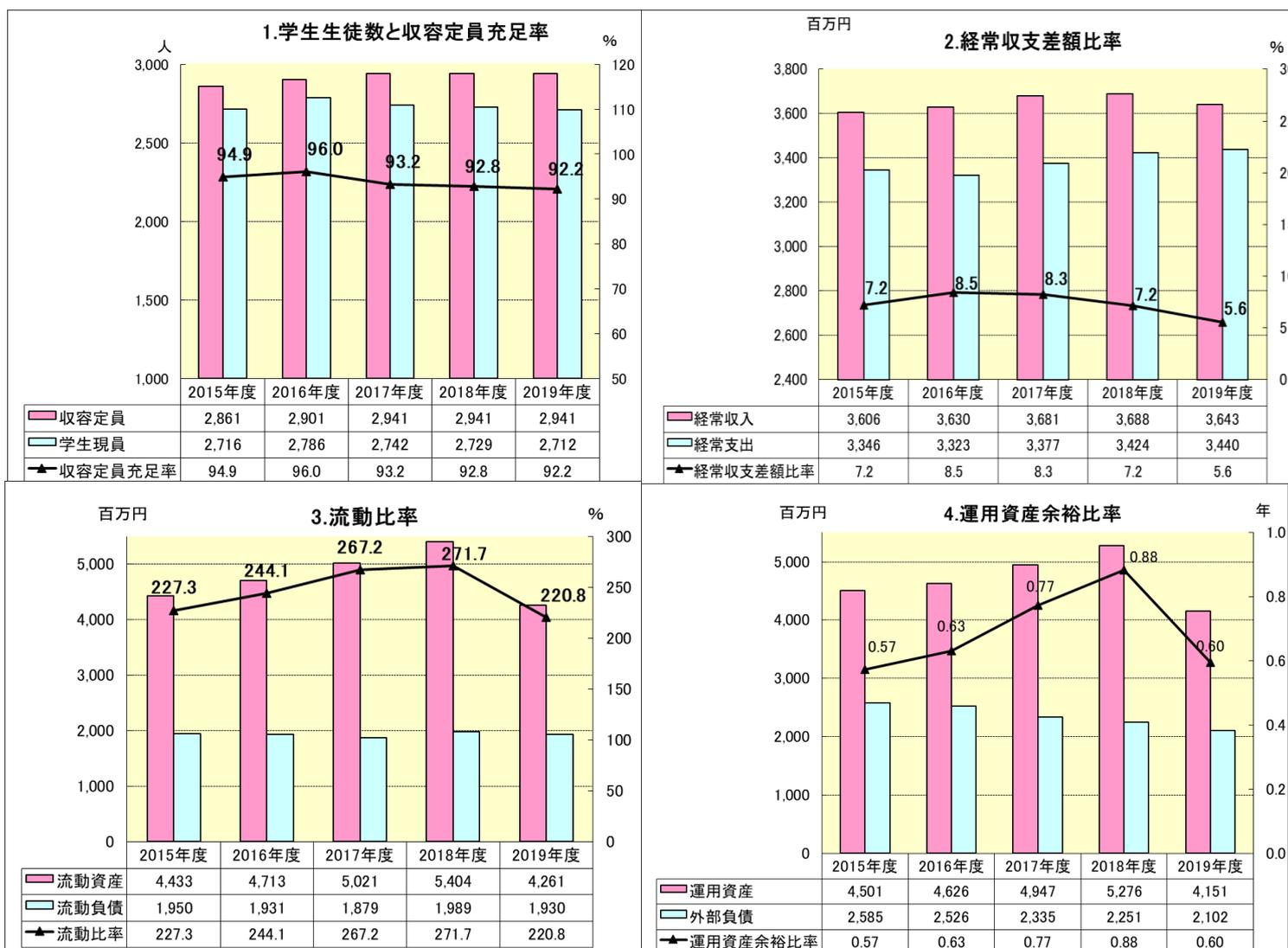
実質的な運用資産を年間の支出に対してどれだけ保有しているかを示すものです。

法人全体

2019年度は学生・生徒・園児数が17名減少し、収容定員充足率は92.2%となりました。経常収支差額比率5.6%、流動比率は220.8%、運用資産余裕比率は0.6年となっております。

2019年度は、小学校開設準備費用に自己資金で約11億8千万円執行していますので、財務比率は低下していますが、中長期財務計画想定内となっております。

2019年度決算(法人全体)



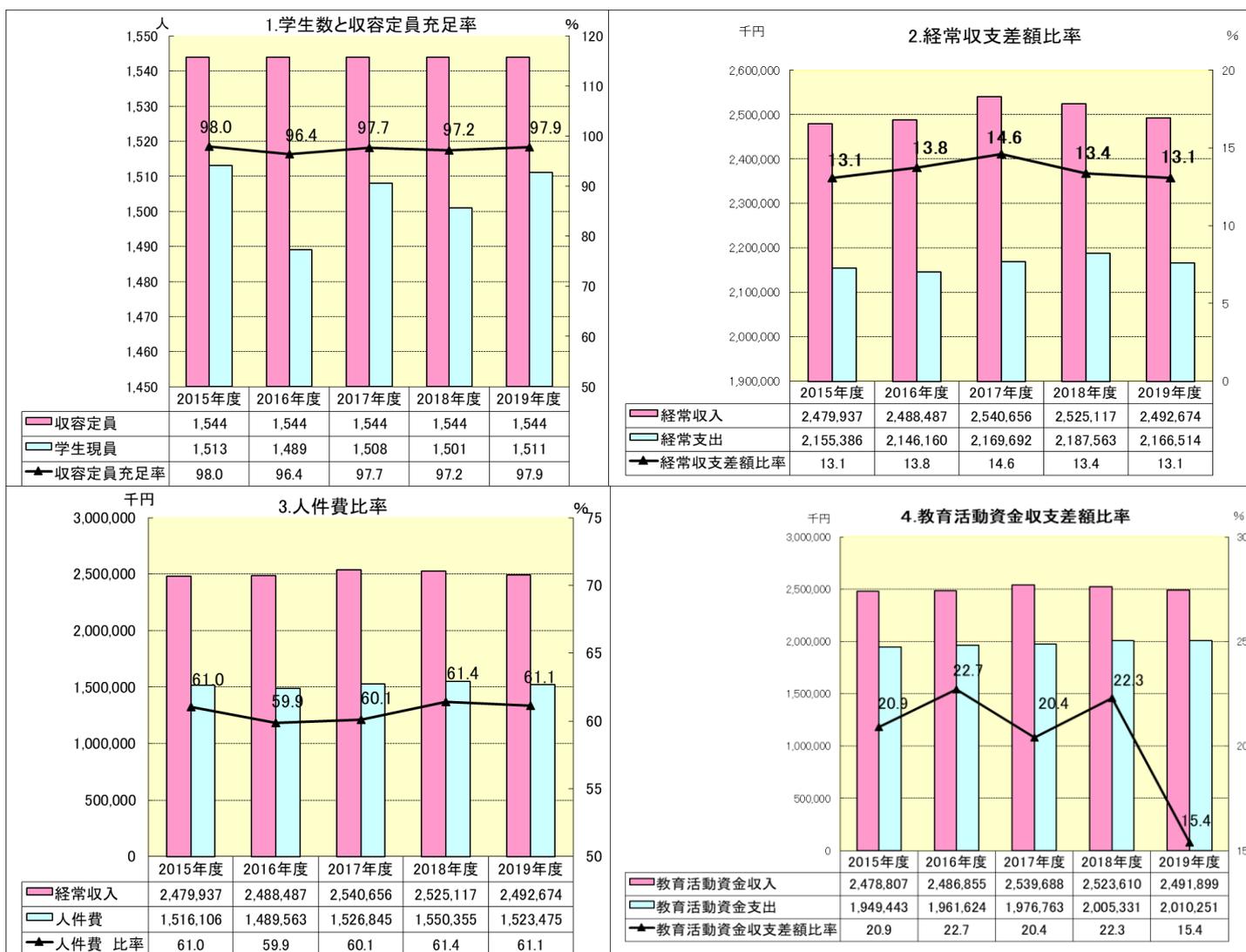
◆ 各学校の主要財務指標の内容

学校別の財務内容については下記指標を用いて算出しました。

- ① 収容定員充足率 = 学生(生徒・園児)現員 ÷ 収容定員
- ② 経常収支差額比率 = 経常収支差額 ÷ 経常収入
- ③ 人件費比率 = 人件費 ÷ 経常収入
 経常収入に対する教職員の人件費の割合を表したものです。
- ④ 教育活動資金収支差額比率 = 教育活動資金収支差額 ÷ 教育活動資金収入計
 教育活動でキャッシュフローが生み出されているかを表したものです

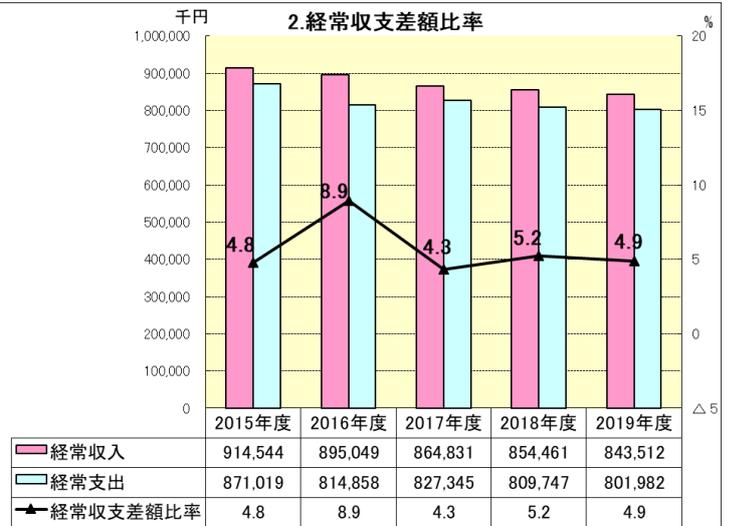
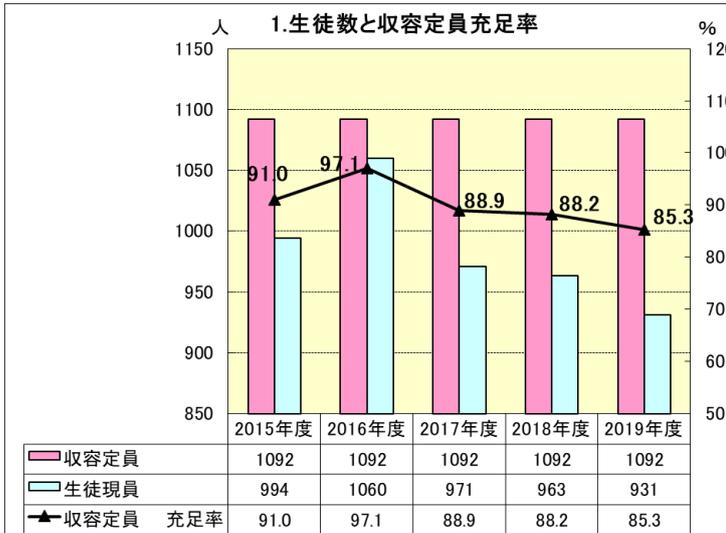
聖隷クリストファー大学

2019年度決算(大学全体)



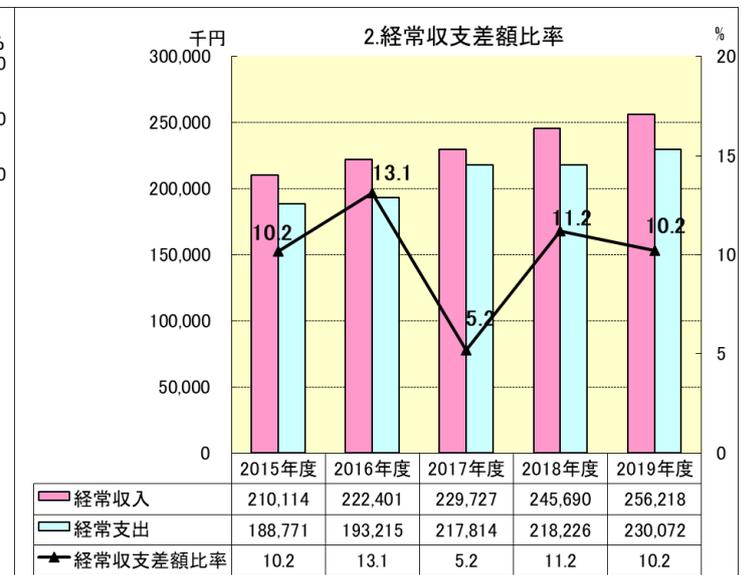
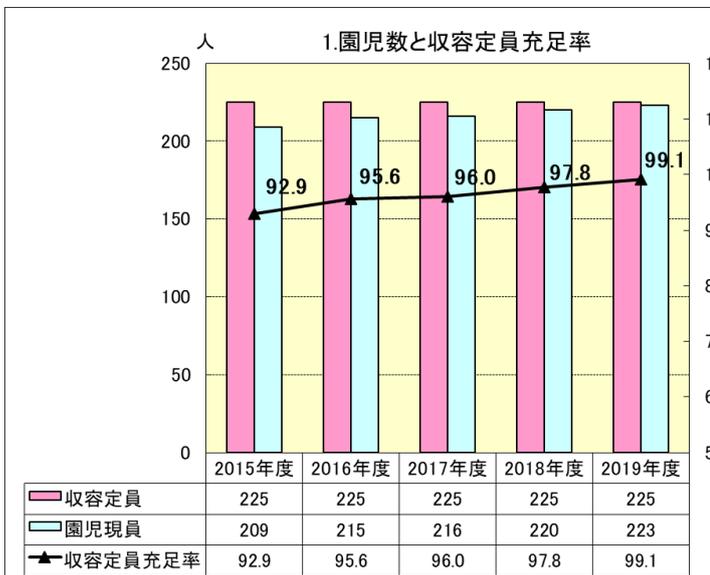
聖隷クリストファー中・高等学校

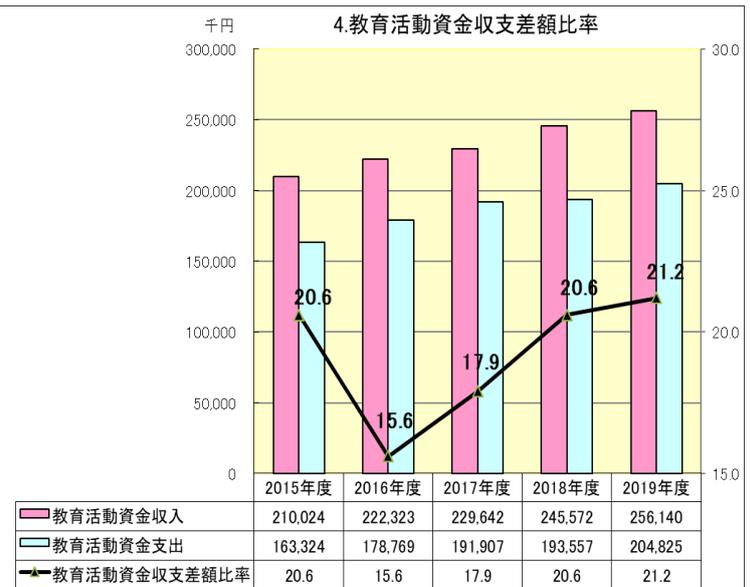
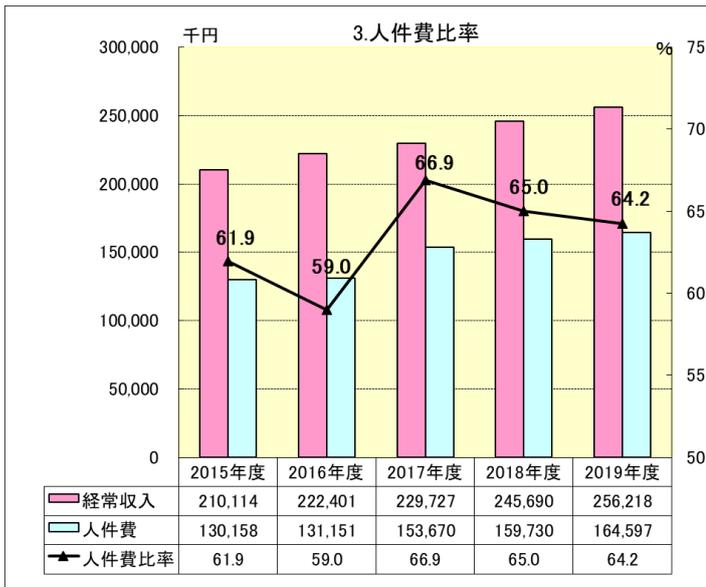
2019年度決算（中・高等学校）



聖隷クリストファー大学附属クリストファーこども園

2019年度決算（こども園）





聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校 2019年度決算（専門学校）2016年度開校

